別海町学校施設長寿命化計画

平成 31 年 3 月

別海町

別海町学校施設長寿命化計画

＜　目　次　＞

第１章　計画策定の背景と目的

１　計画策定の背景---------- 1
２　計画の目的---------- 1
３　計画の位置づけ---------- 1
４　計画の運用期間---------- 2
５　計画の構成---------- 2

第２章　別海町の学校施設等を取巻く状況

１　別海町の概要---------- 3
２　人口・世帯数の動向---------- 4
３　上位関連計画の状況---------- 7

第３章　学校施設の実態

１　学校施設等の状況---------- 12
２　児童生徒数の状況及び将来推計---------- 16
３　施設関連経費の推移 ---------- 18
４　学校施設の老朽化状況の実態---------- 19

第４章　学校施設整備の基本的な方針

１　学校施設を取巻く状況の整理---------- 37
２　学校施設のめざすべき姿---------- 38
３　学校施設整備の基本方針 ---------- 39
４　施設の長寿命化に向けた改修周期の設定---------- 41
５　学校施設の改築・改修に関する選定方針---------- 43
６　基本的な方針を踏まえた施設整備の水準---------- 44

第５章　長寿命化の実施計画

１　改修等の優先順位づけと実施計画---------- 45
２　事業プログラムの設定---------- 46
３　長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果------- 51
４　長寿命化の継続的運用方針---------- 53

参考資料１　別海中央小学校長寿命化改修の想定---------- 54
参考資料２　補助事業等の概要---------- 56

第１章　計画策定の背景と目的

１　計画策定の背景

現在、別海町（以下「本町」という。）が維持管理する学校施設は、町内の公共施設のうち、約２６％の面積を有しています。

これまで、本町における学校施設の整備については、学校等で学ぶ児童生徒等が安全で快適な学校生活を送ることや地域コミュニティ活動、災害対応（避難）等ができるよう、学校等の改築、耐震改修をはじめ、外壁、屋根、屋上等の改修を計画的に実施してきました。

近年、児童生徒等の数が減少傾向にある中、施設の維持管理において、今後の大規模な改修や建替えを行う場合には、多額の費用が必要となることからも、より計画的で適正な学校施設等の維持管理が必要となります。

このような状況の中、本町においても、総合的で長期的な観点で、学校施設の整備や維持管理の適正化を図ることが求められています。

２　計画の目的

本計画は、町内の幼稚園、小学校、中学校及び教職員住宅について、建物、設備等の老朽化に対応していくために学校施設全体の状況を把握し、児童生徒等が、安全で快適な学校生活を送ることができるよう、老朽改修、維持向上及び環境性能向上を含めた長寿命化計画を策定することを目的とします。

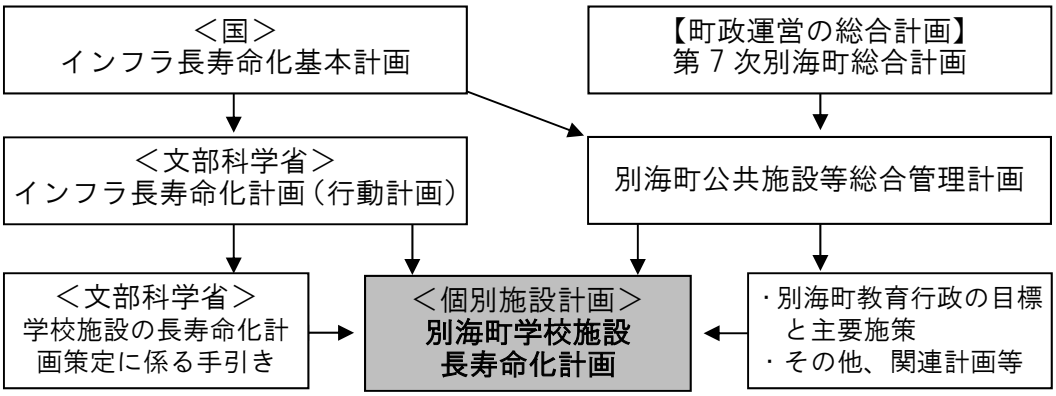
学校施設長寿命化計画では、総合的で長期的な観点で、整備や維持管理等の適正化を図るとともに、財政負担の軽減、平準化等の検討を行います。

また、防災機能強化、ＩＣＴ（情報通信技術）教育への対応、バリアフリー化等についても検討し、児童生徒等がより良い学習環境で学校生活が送れるよう、施設整備の基本方針を策定します。

３　計画の位置づけ

本計画は、上位計画及び関連計画と整合を図りながら策定します。

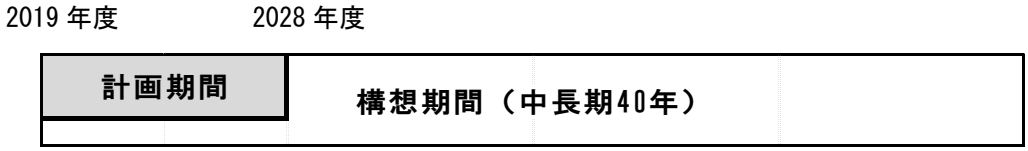
図表 1-1　計画の位置づけ



4　計画の運用期間

本計画は長期的な維持管理の視点により、構想期間を 40 年、計画期間を 10 年間（2019～2028 年度）とします。

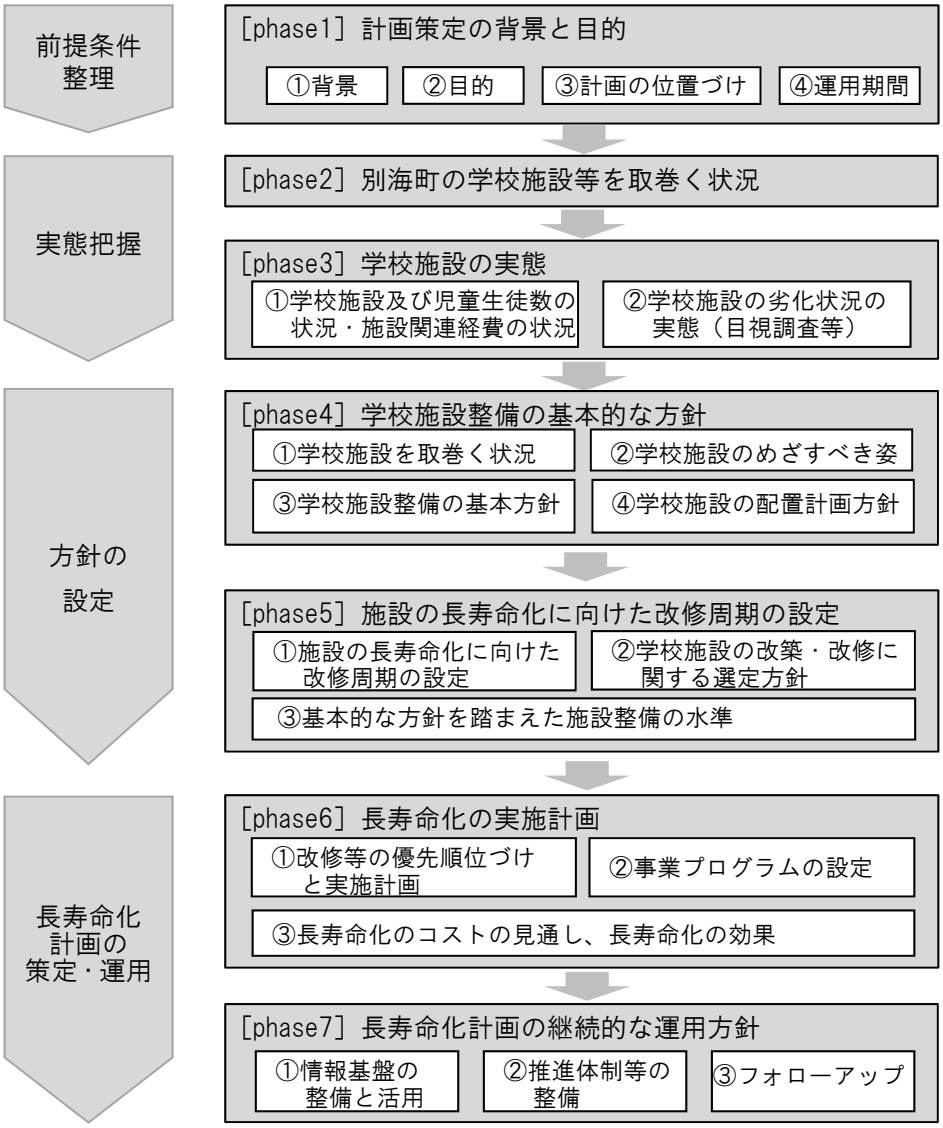
また、社会情勢の変化、事業の進捗状況などを踏まえて、必要に応じ原則 5 年毎に見直しを行います。



5　計画の構成

本計画の構成は、次の図表 1-2 のとおりとなります。

図表 1-2　学校施設長寿命化計画の構成



第２章　別海町の学校施設等を取巻く状況

１　別海町の概要

（１）位置及び面積

本町は、北海道東部根室管内の中央に位置しています。東西 61.4km、南北 44.3km に広がり、総面積 1,319.63km^2 を有しています。東はオホーツク海に面した海岸線となっており、根室市、標津町、中標津町など６市町と隣接しています。

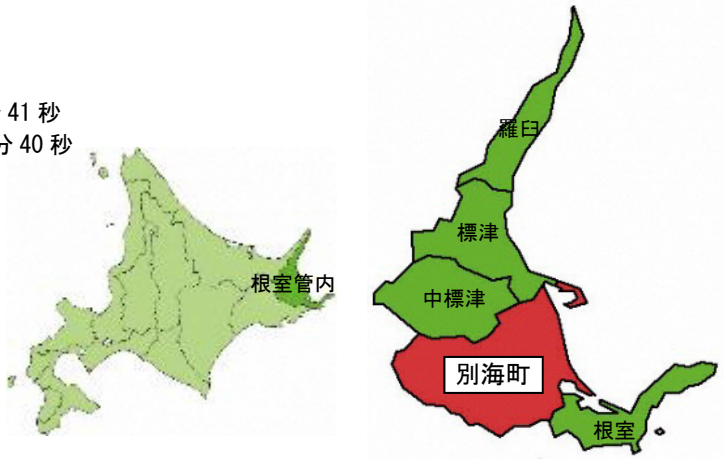
また、野付半島は国後島から約 16km の距離に位置しており、北方領土隣接地域となっています。

地勢は、内陸の大半が丘陵地帯で、大平原が広がっています。また、海岸部は根室湾につながる汽水湖の風蓮湖があるほか、西別川や風蓮川、床丹川、春別川、当幌川、ヤウシュベツ川などの多くの川がオホーツク海へ注いでいます。

図表 2-1　別海町の位置及び地勢

＜位置＞
- ◆北緯　43 度 12 分 45 秒　～43 度 36 分 41 秒
- ◆東経　144 度 38 分 20 秒　～145 度 23 分 40 秒

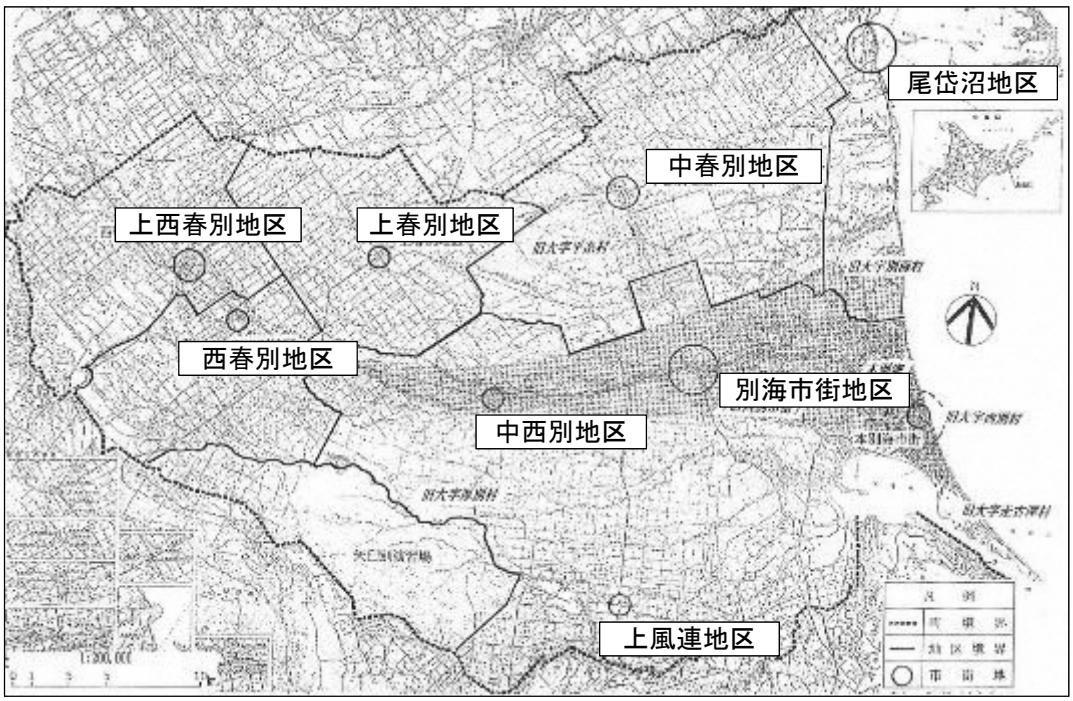
＜地勢＞
- ◆総面積　1,319.63km^2
- ◆東西方向　約 61km
- ◆南北方向　約 44km



（２）地区構成と学校施設の配置

本町では、町の中心市街地区の別海市街地区のほか、上西春別地区、西春別地区、上春別地区、中春別地区、中西別地区、上風連地区及び尾岱沼地区の 8 地区により構成され、それぞれに小学校及び中学校を設置しています。

図表 2-2
地区構成



2　人口・世帯数の動向

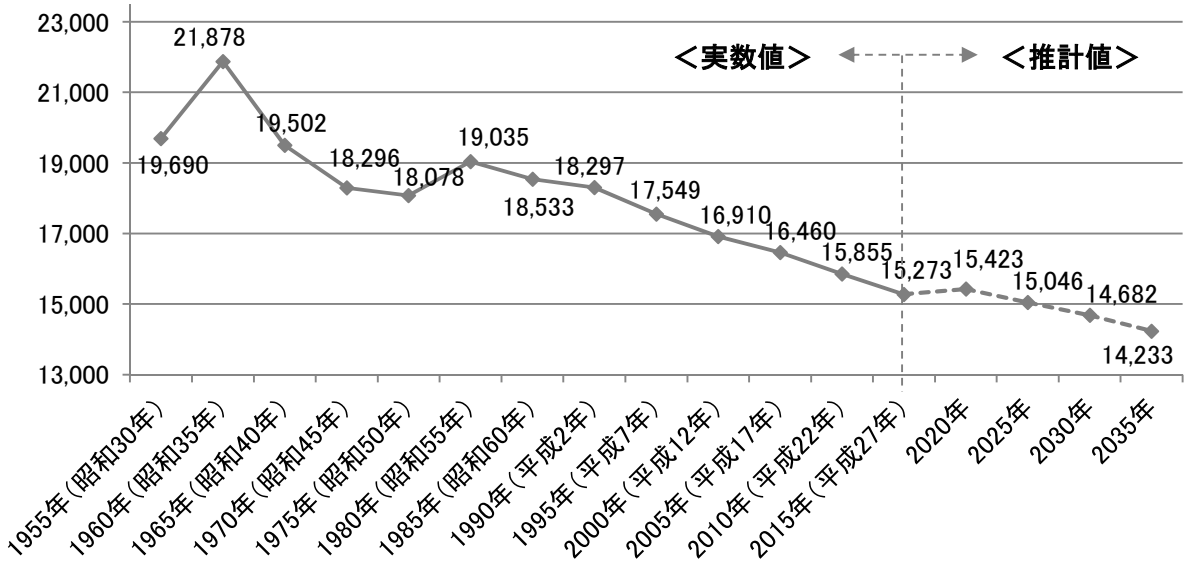
（１）人口・世帯数

本町の人口は、1960 年（昭和 35 年）の国勢調査では 21,878 人でしたが、その後減少を続け、2015 年（平成 27 年）では 15,273 人となっています。

世帯数は近年の動向を見ると微増傾向にあり、5,978 世帯となっています。

なお、別海町人口ビジョンによる将来人口の推計では、2025 年度には 15,046 人程度、2035 年度には 14,233 人程度と推計しています。

図表 2-3　人口の推移（実数値と推計値）



図表 2-4　人口の推移

	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)
北海道	5,692,321 ―	5,683,062 -0.2%	5,627,737 -1.0%	5,507,456 -2.1%	5,381,733 -2.3%
郡部	1,443,200 ―	1,293,694 -10.4%	1,217,137 -5.9%	1,057,096 -13.1%	986,561 -6.7%
根室管内	54,433 ―	53,343 -2.0%	52,855 -0.9%	51,368 -2.8%	49,704 -3.2%
別海町	17,549 ―	16,910 -3.6%	16,460 -2.7%	15,855 -3.7%	15,273 -3.7%

資料　各年国勢調査（※上段：実数、下段：前回調査年度比）

図表 2-5　世帯数の推計

	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)
北海道	2,174,122 ―	2,277,968 4.8%	2,368,892 4.0%	2,424,073 2.3%	2,438,206 0.6%
郡部	502,924 ―	482,328 -4.1%	475,829 -1.3%	434,888 -8.6%	421,145 -3.2%
根室管内	18,595 ―	19,223 3.4%	20,053 4.3%	20,358 1.5%	20,663 1.5%
別海町	5,399 ―	5,543 2.7%	5,788 4.4%	5,862 1.3%	5,978 2.0%

資料　各年国勢調査（※上段：実数、下段：前回調査年度比）

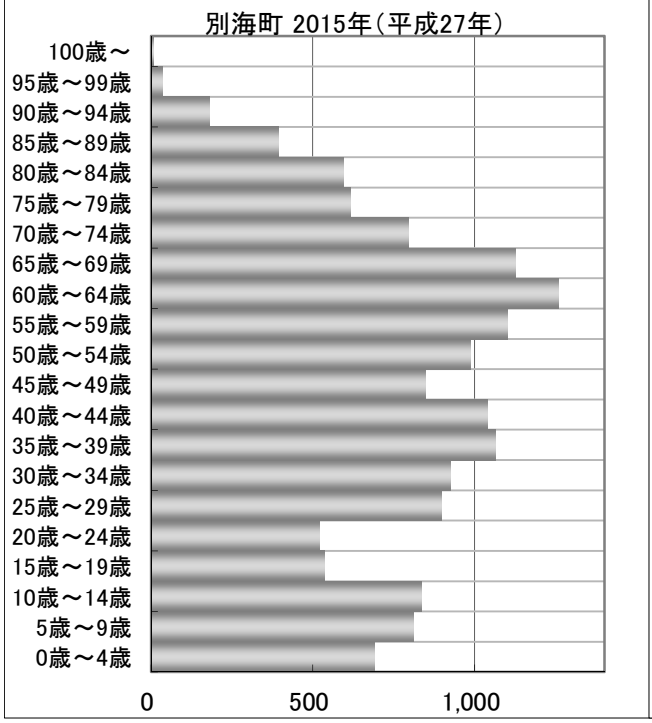
（２） 年齢別人口

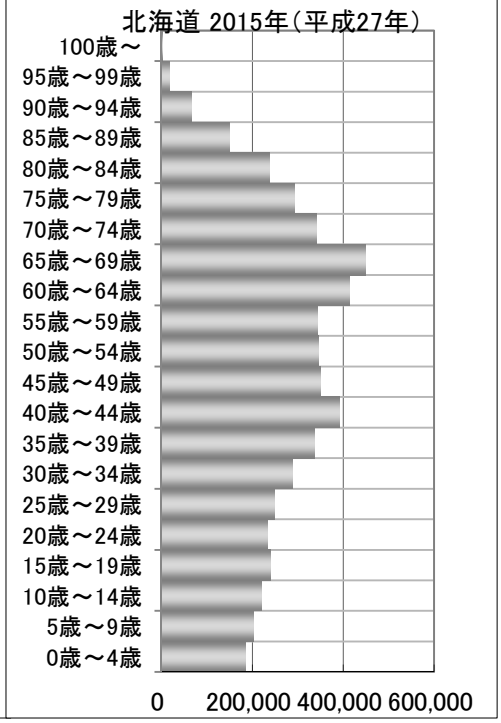
本町の 14 歳以下の人口は、2015 年（平成 27 年）の国勢調査では 2,338 人で全体の 15.3%を占めており、北海道全体の割合である 11.3%を上回っています。その一方で 65 歳以上の高齢者人口割合は北海道全体の割合を下回っています。

また、年齢構造を見ると、幼稚園から中学校までの 5 歳～14 歳人口は、北海道全体の割合を上回っています。

図表 2-6　年齢別人口／5 歳階級（平成 27 年国勢調査）

区分	別海町 2015年(平成27年)				北海道 2015年(平成27年)			
	総　数	男	女	構成比	総　数	男	女	構成比
総数	15,273	7,687	7,586	100.0%	5,381,733	2,537,089	2,844,644	100.0%
0歳～4歳	690	361	329	4.5%	186,010	95,022	90,988	3.5%
5歳～9歳	811	418	393	5.3%	202,269	103,549	98,720	3.8%
10歳～14歳	837	412	425	5.5%	220,017	111,816	108,201	4.1%
15歳～19歳	536	290	246	3.5%	239,098	123,196	115,902	4.4%
20歳～24歳	519	310	209	3.4%	234,274	117,965	116,309	4.4%
25歳～29歳	898	497	401	5.9%	247,587	123,076	124,511	4.6%
30歳～34歳	924	506	418	6.1%	287,674	141,876	145,798	5.3%
35歳～39歳	1,064	559	505	7.0%	337,369	166,514	170,855	6.3%
40歳～44歳	1,040	546	494	6.8%	391,243	193,093	198,150	7.3%
45歳～49歳	848	445	403	5.6%	350,794	169,252	181,542	6.5%
50歳～54歳	988	485	503	6.5%	345,836	165,634	180,202	6.4%
55歳～59歳	1,102	555	547	7.2%	343,884	165,353	178,531	6.4%
60歳～64歳	1,258	650	608	8.2%	413,045	195,920	217,125	7.7%
65歳～69歳	1,126	546	580	7.4%	448,646	207,461	241,185	8.3%
70歳～74歳	794	377	417	5.2%	341,850	151,031	190,819	6.4%
75歳～79歳	615	261	354	4.0%	293,306	124,921	168,385	5.5%
80歳～84歳	594	237	357	3.9%	238,663	95,987	142,676	4.4%
85歳～89歳	394	155	239	2.6%	149,960	51,414	98,546	2.8%
90歳～94歳	180	57	123	1.2%	65,902	16,786	49,116	1.2%
95歳～99歳	36	10	26	0.2%	17,225	3,247	13,978	0.3%
100歳～	7	3	4	0.0%	2,835	439	2,396	0.1%
不詳	12	7	5	－	24,246	13,537	10,709	0.5%
0歳～14歳	2,338	1,191	1,147	15.3%	608,296	310,387	297,909	11.3%
15歳～64歳	9,177	4,843	4,334	60.1%	3,190,804	1,561,879	1,628,925	59.3%
65歳～	3,746	1,646	2,100	24.5%	1,558,387	651,286	907,101	29.0%



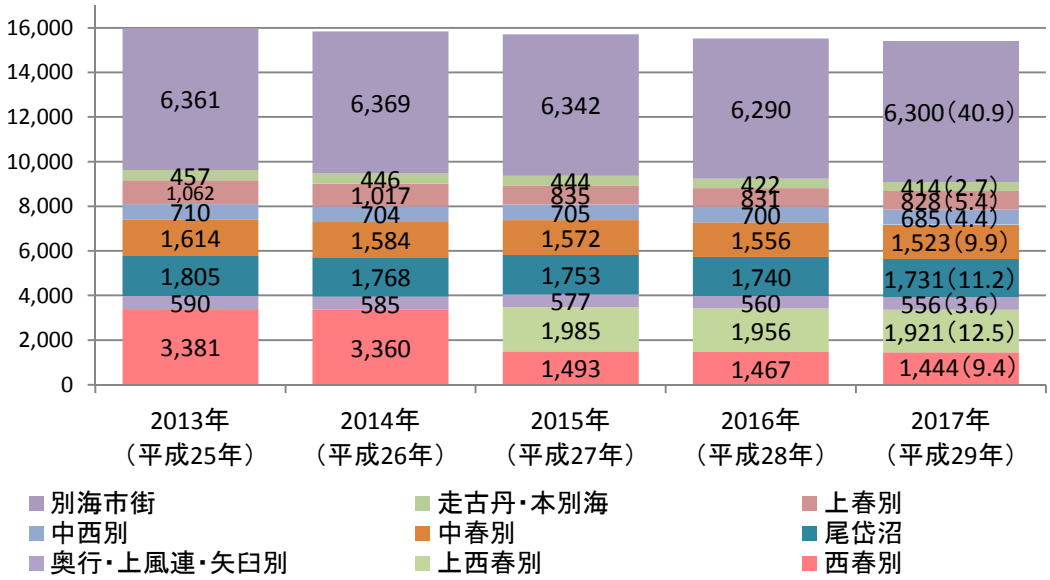


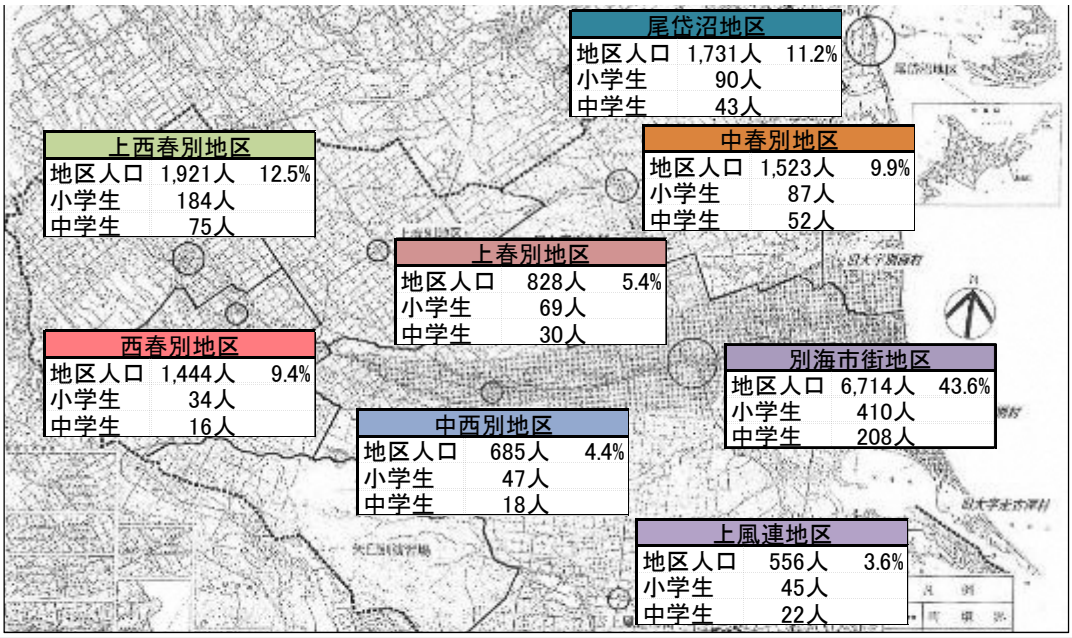
（３） 地区人口の現状と推移

学校施設が立地する地区人口を見ると、別海市街は 6,300 人で４割以上が居住しています。人口の１割以上を占める郊外の拠点地区は、上西春別及び尾岱沼となっています。その他、人口の１割以下の郊外地区は、中春別、上春別、中西別、上風連及び西春別となっています。

図表 2-7　地区人口の推移

区分	2013年（平成25年）		2014年（平成26年）		2015年（平成27年）		2016年（平成28年）		2017年（平成29年）	
	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比
別海市街	6,361	39.8%	6,369	40.2%	6,342	40.4%	6,290	40.5%	6,300	40.9%
走古丹・本別海	457	2.9%	446	2.8%	444	2.8%	422	2.7%	414	2.7%
上春別	1,062	6.6%	1,017	6.4%	835	5.3%	831	5.4%	828	5.4%
中西別	710	4.4%	704	4.4%	705	4.5%	700	4.5%	685	4.4%
中春別	1,614	10.1%	1,584	10.0%	1,572	10.0%	1,556	10.0%	1,523	9.9%
尾岱沼	1,805	11.3%	1,768	11.2%	1,753	11.2%	1,740	11.2%	1,731	11.2%
奥行・上風連・矢臼別	590	3.7%	585	3.7%	577	3.7%	560	3.6%	556	3.6%
上西春別	3,381	21.2%	3,360	21.2%	1,985	12.6%	1,956	12.6%	1,921	12.5%
西春別					1,493	9.5%	1,467	9.5%	1,444	9.4%
総数	15,980	100.0%	15,833	100.0%	15,706	100.0%	15,522	100.0%	15,402	100.0%





3　上位関連計画の状況

（１）インフラ長寿命化基本計画［2013 年(平成 25 年)11 月］

高度成長期以降に集中的に整備されたインフラの加速度的な高齢化に向け、戦略的な維持・管理・更新等の推進に向けた基本的な考え方や個別計画の内容等が位置づけられています。

図表 2-8　インフラ長寿命化計画の概要

＜計画の目的＞

◇個別施設毎の長寿命化計画を核として、メンテナンスサイクルを構築
◇メンテナンスサイクルの実行や体制の構築等により、トータルコストを縮減・平準化
◇産学官の連携により、新技術を開発・メンテナンス産業を育成

＜計画の概要＞

［１　めざすべき姿］
◆安全で強靭なインフラシステムの構築
◆総合的・一体的なインフラマネジメントの実現
◆メンテナンス産業によるインフラビジネスの競争力強化

［２　基本的な考え方］
◆インフラ機能の確実かつ効率的な確保
➢メンテナンスサイクルの構築や多段階の対策により、安全・安心を確保
➢予防保全型維持管理の導入、必要性の低い施設の統廃合等によりトータルコストを縮減・平準化し、インフラ投資の持続可能性を確保
◆メンテナンス産業の育成
➢産学官連携の下、新技術の開発・積極公開により民間開発を活性化させ、世界の最先端へ誘導
◆多様な施策・主体との連携
➢防災・減災対策等との連携により、維持管理・更新を効率化
➢政府・産学界・地域社会の相互連携を強化し、限られた予算や人材で安全性や利便性を維持・向上

［３　計画の策定内容］
◆インフラ長寿命化計画（行動計画）
➢計画的な点検や修繕等の取組を実施する必要性が認められる全てのインフラでメンテナンスサイクルを構築・継続・発展させるための取組方針
（◇対象施設の現状と課題／維持管理・更新コストの見通し／必要施策に係る取組の方向性等）
◆個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）
➢施設毎のメンテナンスサイクルの実施計画
（◇対策の優先順位の考え方／個別施設の状態等／対策内容と時期／対策費用等）

＜必要施策の方向性＞

点検・診断	定期的な点検による劣化・損傷の程度や原因の把握等
修繕・更新	優先順位に基づく効率的かつ効果的な修繕・更新の実施等
基準類の整備	施設の特性を踏まえたマニュアル等の整備、新たな知見の反映等
情報基盤の整備と活用	電子化された維持管理情報の収集・蓄積、予防的な対策等への利活用等
新技術の開発・導入	ICT、センサー、ロボット、非破壊検査、補修・補強、新材料等に関する技術等の開発・積極的な活用等
予算管理	新技術等の活用やインフラ機能の適正化による維持管理・更新コストの縮減、平準化等
体制の構築	［国］技術等の支援体制の構築、資格・研修制度の充実 ［地方公共団体］維持管理・更新部門への人員の適正配置、国の支援制度等の積極的な活用 ［民間企業］入札契約制度の改善等
法令等の整備	基準類の体系的な整備　等

（２）文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画［2015 年（平成 27 年）3 月］

国による基本計画を踏まえ、文部科学省が所管又は管理する施設の維持管理を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにすることを目的に策定された本計画は、計画期間を 2014 年度（平成 26 年度）～2020 年度とし、めざすべき姿や必要施策の方向性等を位置づけています。

図表 2-9　文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）の概要

＜計画の範囲＞

◆対象施設：維持管理等に関する公財政支出があり、多数の国民を受け入れる施設
（国公立学校施設、公立社会教育施設、施設運営型独立行政法人、庁舎等）
◆計画期間：平成２６～３２年度（2014～2020 年度）

＜めざすべき姿＞

◆各設置者における「メンテナンスサイクル」（①定期的な点検・診断、②計画策定、③計画に基づく対策の実施）の構築
◆これまでの改築中心から長寿命化への転換による、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減
◆行動計画・個別施設計画の策定を通じた予算の平準化

＜現状・課題＞

◆第 2 次ベビーブームに対応して整備された学校施設等について、今後、急速な老朽化と整備需要の急増が予想
◆建築基準法に基づく点検・診断の実施状況等について地域差が存在
◆児童生徒等の安全性の確保はもとより、教育研究活動の高度化・多様化やバリアフリー・省エネ等に対応した機能の向上も必要
◆厳しい財政状況等により対策が十分に行われていないおそれ

＜必要施策の方向性＞

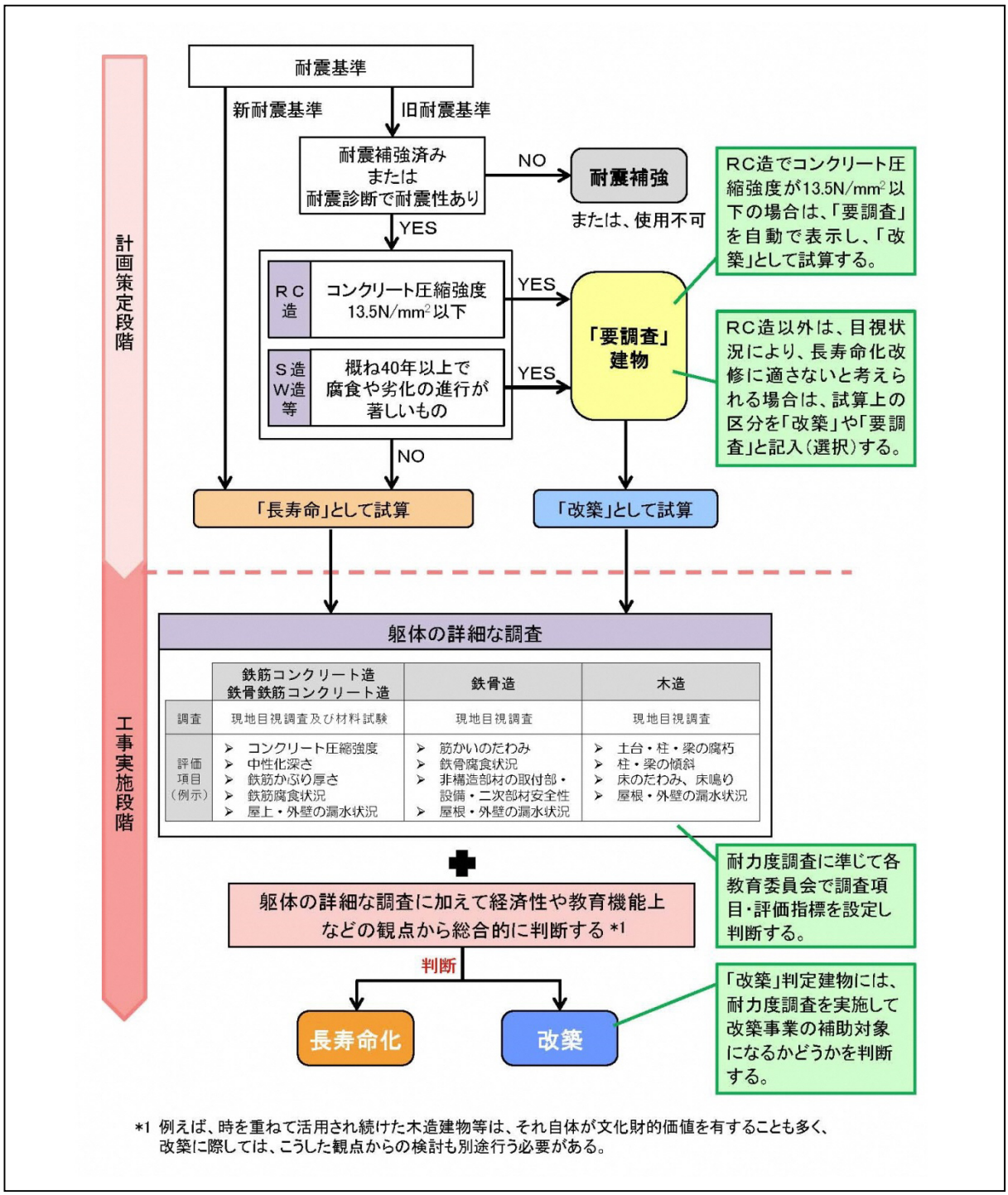
点検・診断の着実な実施	地域差のない点検の着実な実施を要請、点検実施の手引き作成・提供
個別施設計画の策定	個別施設計画策定の手引の作成・提供等により各設置者の取組を促進
対策の着実な実施	個別施設計画に基づく着実な取組を促進
予算管理	トータルコスト縮減・予算の平準化の促進、必要な予算の安定的な確保
指針・手引の策定	［点検・診断］［計画］［対策］の各段階に対応する指針・手引の整備・充実
体制の構築	体制構築の重要性・手段等に関する周知、先駆的事例の普及啓発
情報基盤の整備及び活用	施設に関する情報の蓄積・共有の有用性に関する普及啓発
新技術の開発・導入	非破壊検診断技術・新材料に関する研究開発、導入段階に至った新技術の周知

（３）学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書［2017 年（平成 29 年）3 月］

文部科学省による「インフラ長寿命化計画（行動計画）」で示された方向性をもとに、各地方公共団体において学校施設を対象とした長寿命化計画が早期に策定されるよう、計画に盛り込むべき事項や、それらを検討する上での留意事項等を示すものとして本解説書が作成されています。

なお、本計画書では、計画策定のための建物情報の整理するに当たり、「①学校施設の全体把握」、「②老朽化状況の把握」、「③今後の維持・更新コストの把握」、「④直近の整備計画の策定」の 4 段階が示されていますが、下図は②のうち、構造躯体の健全性を把握するためのフローとして示されています。

図表 2-10　長寿命化の判定フロー



（４）第７次別海町総合計画［2019 年(平成 31 年)3 月］

本計画は、基本構想の計画期間を 2019 年度（平成 31 年度）から 2028 年度までの 10 年間とし、めざすべき将来像を「人とつながり未来につながる海と大地に夢があふれるまち」とし、まちづくりの基本目標、基本方針等を位置づけています。学校教育等に関する主要施策は基本目標４・第２節で位置づけています。

図表 2-11　第７次別海町総合計画の概要（第７次別海町総合計画原案より抜粋）

＜別海町の将来像＞

人がつながり 未来につながる 海と大地に夢があるれるまち
～いつも心に広がるふるさと　べつかい～

＜まちづくりの目標＞

基本目標４：生涯を通じて人と文化を育む学びのまち

◆地域ぐるみで心豊かなまちづくり

第１節 社会教育の推進
第２節 **学校教育の充実**
第３節 青少年の健全育成
第４節 地域文化の振興
第５節 スポーツの振興
第６節 交流時代への対応

＜第２節　学校教育の充実（関連施策等抜粋）＞

［施策の目的］

次代の本町を担う人材の育成に向け、生きる力を重視した教育活動と信頼される学校づくりを進めながら、学校施設及び設備の計画的な整備や、地域の特性を生かし、地域が一体となった総合的な教育環境の向上に取り組みます。

［主要施策（関連施策抜粋）］

（２）学校教育の充実

基礎的な学力向上や個性・創造性を伸ばすことを基本に、個に応じた指導方法の工夫改善に努め、次期学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」に代表されるアクティブ・ラーニングを視野に入れ、学力、体力、生活力の向上を柱とした取組を進めます。

また、学びの土台となる力を伸長するため、ＮＩＥ活動の推進、読書活動の推進、図書館司書と学校が連携した魅力ある学校図書館づくり、児童・生徒用図書の整備等を進めます。

さらに、2018 年度（平成 30 年度）からの移行期間を経て 2020 年度から実施される小学校３、４年生の外国語活動、５、６年生の外国語科に向けて、ＡＬＴの増員など、小・中学校を含めた外国語学習の指導体制の整備に取り組みます。

（３）学校施設及び設備の整備

学校施設及び設備の老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」及び本町の将来を見据えた学校配置の方針を定めた「小・中学校適正配置計画」に基づき整備を進めます。

また、教職員住宅については、使用料及び管理経費の検証や、老朽化、利用状況等の実態を把握し、計画的に整備を進めます。

さらに、道が定める方針等に基づく教育の情報化の推進に向け、学校における ICT 環境の整備を進めます。

［主要事業（抜粋）］

学校施設及び設備の整備事業	老朽化等の状況を把握し、中長期的な方針を定めた「別海町学校施設等長寿命化計画」に基づき学校施設及び設備について計画的に整備を進めます。

（５）別海町公共施設等総合管理計画［2016 年(平成 28 年)9 月］

本計画は、「行政と住民が公共施設の現状について共通認識をすること」を目的に、現在の町が所有するインフラ及び公共施設の状況を整理しています。施設分類別の床面積では「学校教育」施設の床面積が最も多く約 6.1 万㎡としています。

また、計画では「今後の検討すべき方向性」として個別施設計画の策定と「施設の適正な配置」等の課題を挙げています。

図表 2-12　別海町公共施設等総合管理計画の概要

第３章　学校施設の実態

１　学校施設等の状況

（１）対象とする学校施設等

本町には、小学校８校、中学校８校の合計 16 校の学校施設があるほか、本計画の対象とする町が管理する幼稚園が３園あります。

小学校全体の床面積は 26,685 ㎡、中学校全体は 25,100 ㎡、幼稚園は 1,660 ㎡となり、対象施設全てを合わせた延床面積は 53,445 ㎡になります。

小学校の 1 校当たりの床面積は、上風連小学校 1,891 ㎡から別海中央小学校の 5,939 ㎡となっています。

また、中学校の 1 校当たりの床面積は、上春別中学校の 2,028 ㎡から別海中央中学校の 4,715 ㎡となっています。

図表 3-1　対象施設一覧（H30 年 5 月 1 日現在）

名称			建築年度	延床面積（㎡）	住所
小学校	1　野付小学校	(2734)	S56	3,418	尾岱沼潮見町217番地
	2　上風連小学校	(2735)	S46～H3	1,891	上風連181番地４
	3　中西別小学校	(2741)	S40～61	2,408	中西別光町48番地
	4　別海中央小学校	(2745)	S51～H3	5,939	別海旭町431番地１
	5　中春別小学校	(2749)	S54～H22	2,937	中春別西町34番地
	6　西春別小学校	(2756)	S63～H2	2,705	西春別宮園50番地
	7　上西春別小学校	(2758)	S57～H4	4,587	西春別駅前西町2番地
	8　上春別小学校	(2763)	H2	2,800	上春別123番地12
	計			26,685	
中学校	1　野付中学校	(5180)	S46～62	2,890	尾岱沼潮見町203番地
	2　上風連中学校	(5181)	H9	2,647	上風連182番地３
	3　中西別中学校	(5182)	H12～13	2,628	中西別朝日町14番地
	4　別海中央中学校	(5183)	S58～H8	4,715	別海緑町116番地4
	5　西春別中学校	(5184)	H5～6	3,041	西春別本久町1番地
	6　中春別中学校	(5185)	H26～28	3,389	中春別南町17番地
	7　上西春別中学校	(5188)	H28～H30	3,762	西春別駅前西町270番地１
	8　上春別中学校	(5190)	S44～H14	2,028	上春別旭町30番地
	計			25,100	
幼稚園	1　認定こども園中西別幼稚園	(7392)	S49	333	中西別160番地４
	2　認定こども園上西春別幼稚園	(7393)	H11	689	西春別駅前西町1番地8
	3　認定こども園野付幼稚園	(7394)	H15	638	尾岱沼213番地
	計			1,660	
合　計				53,445	

教員住宅	1　別海緑町教職員住宅		H3	579	別海緑町38番地1
	2　西春別教職員住宅		H5	579	西春別駅前柏町12番地1
	計			1,158	

図表 3-2　学校施設の配置状況

上西春別地区

番号	学校	校舎			屋体
小-7	上西春別小学校	S57	H2		H3
中-7	上西春別中学校	H28			H30
幼-2	認定こども園上西春別幼稚園	H11			
住-2	教職員住宅	H5			

尾岱沼地区

番号	学校	校舎			屋体
小-1	野付小学校	S55	S56		S56
中-1	野付中学校	S46	S62		S62
幼-3	認定こども園野付幼稚園	H15			

中春別地区

番号	学校	校舎			屋体
小-5	中春別小学校	S54	H3		H3
中-5	中春別中学校	H26			H27

上春別地区

番号	学校	校舎			屋体
小-8	上春別小学校	H1			H2
中-8	上春別中学校	S55	S56		S56

西春別地区

番号	学校	校舎			屋体
小-6	西春別小学校	S63			H1
中-5	西春別中学校	H4			H5

中西別地区

番号	学校	校舎			屋体
小-3	中西別小学校	S47	S50	S61	S47
中-3	中西別中学校	H11			H12
幼-1	認定こども園中西別幼稚園	S49			

別海市街地区

番号	学校	校舎			屋体
小-4	別海中央小学校	S51	S52	H2	S53
中-4	別海中央中学校	S57	S58	H7	S59
住-1	教職員住宅	H3			

上風連地区

番号	学校	校舎			屋体
小-2	上風連小学校	S46	H3		S47
中-2	上風連中学校	H9			H8

（２）学校施設の築年別整備状況

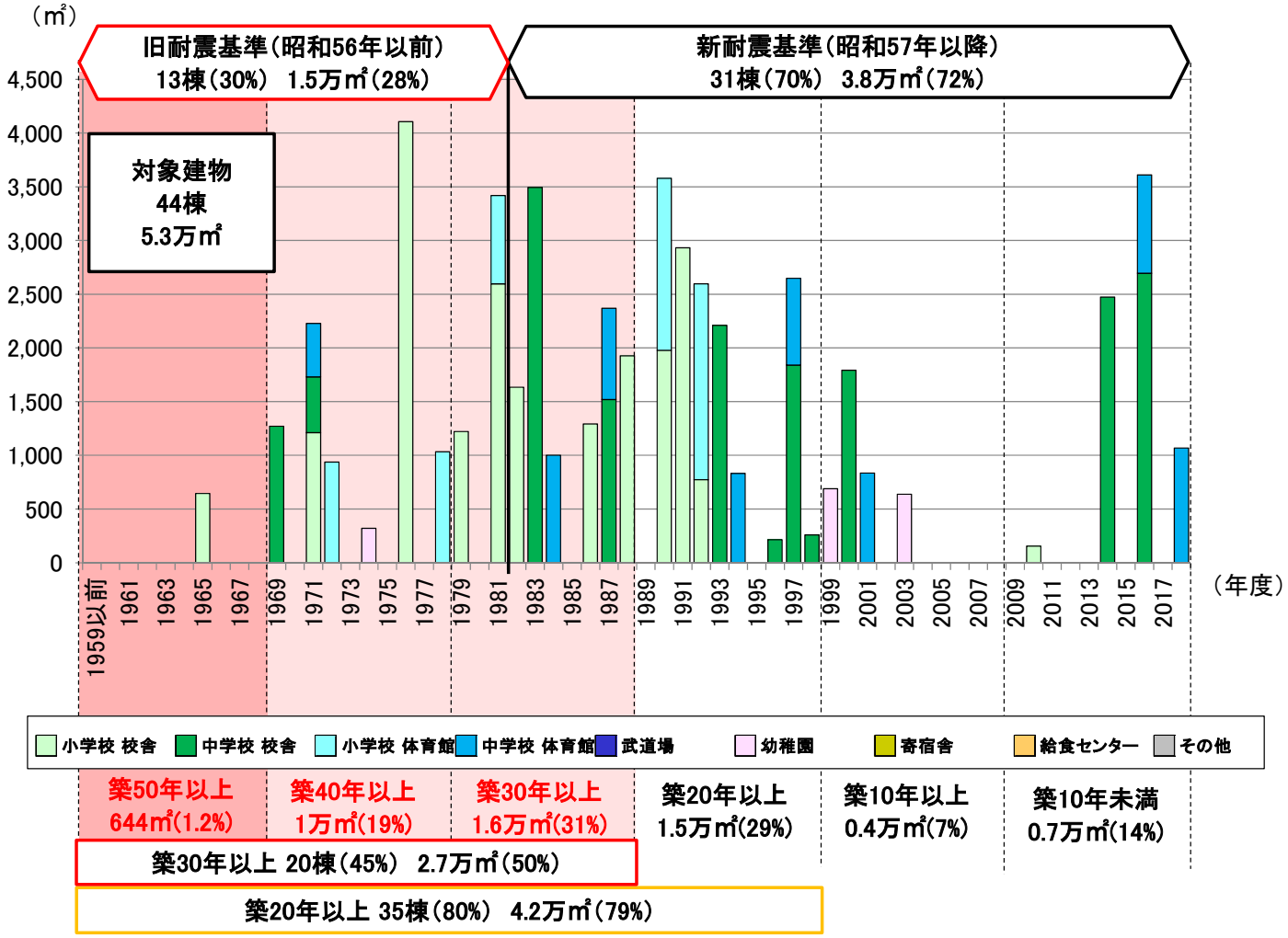
本町が所有する学校施設 44 棟の延床面積は約 5.3 万㎡で、建築年別の整備状況で示すと下図となります。

延床面積比として、築 40 年以上の施設は全体の約 20.2%を占めているとともに、昭和 50 年代に学校建設のピークがあるため、築 30 年以上の施設は約 51.2%と過半数を占めています。

また、昭和 57 年（1982 年）以前の旧耐震基準で建てられた学校施設については 13 棟となっていますが、これらの施設の改修については、耐震化が必要な施設への対応を優先させて進めてきました。

なお、近年では上風連小学校、上西春別小学校、上春別小学校及び上春別中学校において、老朽改修（大規模改修）を順次進めてきました。

図表 3-3　築年別整備状況



図表 3-4　建物別施設の状況

種別	施設名	建物名	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度			耐震診断				耐震補強		
						和暦	西暦	築年数	基準	診断	調査年度	IS値	補強	年度	IS値
小学校	1 野付小学校	校舎1	RC	2	2,596	S56	(1981)	37	旧	済	H19	0.4	済	H21	0.7
		体育館	S	1	822	S56	(1981)	37	旧	済	H19	0.5	済	H21	0.8
	2 上風連小学校	校舎１	RC	2	1,212	S46	(1971)	47	旧	済	H21	0.8			
		校舎２	S	1	215	H3	(1991)	27	新						
		体育館	S	1	464	S47	(1972)	46	旧	済	H21	0.2	済	H23	0.8
	3 中西別小学校	校舎1	S	1	595	S40	(1965)	53	旧	済	H20	0.9			
		校舎2	RC	2	1,340	S61	(1986)	32	新						
		体育館	S	1	473	S47	(1972)	46	旧	済	H20	0.2	済	H22	0.8
	4 別海中央小学校	校舎1	RC	2	3,501	S51	(1976)	42	旧	済	H9	1.5			
		校舎2	RC	2	800	H3	(1991)	27	新						
		体育館	S	1	1,033	S53	(1978)	40	旧	済	H9	0.2	済	H21	1.1
	5 中春別小学校	校舎１	RC	2	1,222	S54	(1979)	39	旧	済	H21	0.8			
		校舎２	RC	1	773	H4	(1992)	26	新						
		校舎３	S	1	155	H22	(2010)	8	新						
		体育館	S	1	787	H4	(1992)	26	新						
	6 西春別小学校	校舎１	RC	2	1,926	S63	(1988)	30	新						
		体育館	RC	1	779	H2	(1990)	28	新						
	7 上西春別小学校	校舎１	RC	2	1,634	S57	(1982)	36	新						
		校舎２	RC	2	1,917	H3	(1991)	27	新						
		体育館	RC	1	1,036	H4	(1992)	26	新						
	8 上春別小学校	校舎１	RC	2	1,977	H2	(1990)	28	新						
		体育館	S	1	823	H2	(1990)	28	新						
中学校	1 野付中学校	校舎１	RC	1	521	S46	(1971)	47	旧	済	H19	1.5			
		校舎２	RC	2	1,520	S62	(1987)	31	新						
		体育館	S	1	849	S62	(1987)	31	新						
	2 上風連中学校	校舎１	RC	2	1,840	H9	(1997)	21	新						
		体育館	RC	1	807	H9	(1997)	21	新						
	3 中西別中学校	校舎１	RC	2	1,793	H12	(2000)	18	新						
		体育館	RC	1	835	H13	(2001)	17	新						
	4 別海中央中学校	校舎１	RC	2	3,501	S58	(1983)	35	新						
		校舎２	RC	1	214	H8	(1996)	22	新						
		体育館	S	1	1,000	S59	(1984)	34	新						
	5 西春別中学校	校舎１	RC	2	2,210	H5	(1993)	25	新						
		体育館	RC	1	831	H6	(1994)	24	新						
	6 中春別中学校	校舎１	RC	2	2,473	H26	(2014)	4	新						
		体育館	S	1	916	H28	(2016)	2	新						
	7 上西春別中学校	校舎１	RC	2	2,695	H28	(2016)	2	新						
		体育館	RC	1	1067	H30	(2018)	0	新						
	8 上春別中学校	校舎１	S	2	1,271	S44	(1969)	49	旧	済	H21	0.6	済	H23	0.8
		校舎２	S	1	259	H10	(1998)	20	新						
		体育館	S	1	498	S46	(1971)	47	旧	済	H21	0.3	済	H23	0.8
幼稚園	1 認定こども園 中西別幼稚園	園舎	S	1	333	S49	(1974)	44	旧	済	H24	0.7			
	2 認定こども園 上西春別幼稚園	園舎	RC	1	689	H11	(1999)	19	新						
	3 認定こども園 野付幼稚園	園舎	W	1	638	H15	(2003)	15	新						
住宅	1 教職員住宅	集合住宅	RC	2	579	H3	(1991)	27	新						
	2 教職員住宅	集合住宅	RC	2	579	H5	(1993)	25	新						

2　児童生徒数の状況及び将来推計

（１）児童生徒数及び学級数の状況

2018 年度（平成 30 年度）現在の児童生徒数及び学級数の状況は、小学校が生徒数 966 人、学級数が 75 学級となっています。中学校は生徒数 464 人、学級数が 42 学級となっています。

幼稚園も含めた合計では、児童生徒が 1,536 人、126 学級となっています。

図表 3-5　学校施設の生徒数等の状況　　（平成 30 年 5 月 1 日現在）

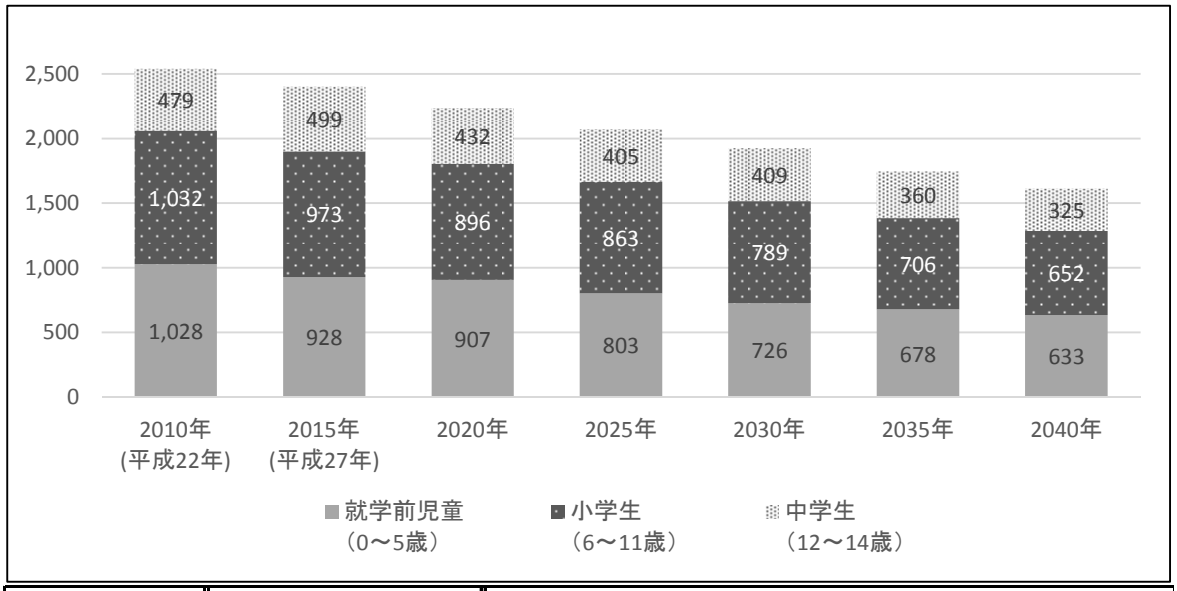
名称		建築年度	児童生徒数			学級数		
			通常学級在籍者数	特別支援	計	通常学級	特別支援	計
小学校	1　野付小学校	S56	85	5	90	6	1	7
	2　上風連小学校	S46～H3	42	3	45	4	1	5
	3　中西別小学校	S40～61	43	4	47	4	3	7
	4　別海中央小学校	S51～H3	370	40	410	12	8	20
	5　中春別小学校	S54～H22	79	8	87	6	4	10
	6　西春別小学校	S63～H2	30	4	34	3	2	5
	7　上西春別小学校	S57～H4	157	27	184	6	6	12
	8　上春別小学校	H2	55	14	69	6	3	9
	計		861	105	966	47	28	75
中学校	1　野付中学校	S46～62	42	1	43	3	1	4
	2　上風連中学校	H9	22		22	3		3
	3　中西別中学校	H12～13	18		18	3		3
	4　別海中央中学校	S58～H8	197	11	208	6	5	11
	5　西春別中学校	H5～6	14	2	16	3	2	5
	6　中春別中学校	H26～28	47	5	52	3	3	6
	7　上西春別中学校	H28～H30	68	7	75	3	2	5
	8　上春別中学校	S44～H14	28	2	30	3	2	5
	計		436	28	464	27	15	42
幼稚園	1　認定こども園 中西別幼稚園	S49	16		―	3		―
	2　認定こども園 上西春別幼稚園	H11	46		―	3		―
	3　認定こども園 野付幼稚園	H15	44		―	3		―
	計		106			9		
合　計			1,403	133	1,536	83	43	126

（２）児童生徒数の将来推計

国勢調査をもとにした別海町人口ビジョンでの将来児童数は、2030 年では就学前児童が 726 人、小学生が 789 人、中学校が 409 人、全体で 1,924 人で 2015 年（平成 27 年）と比較すると 80%程度となることが推計されています。

また、2040 年では就学前児童が 633 人、小学生が 652 人、中学校が 325 人、全体で 1,610 人とし 2015 年（平成 27 年）と比較するとさらに減少し 67%程度となることが推計されています。

図表 3-6　児童生徒数の推移と将来推計



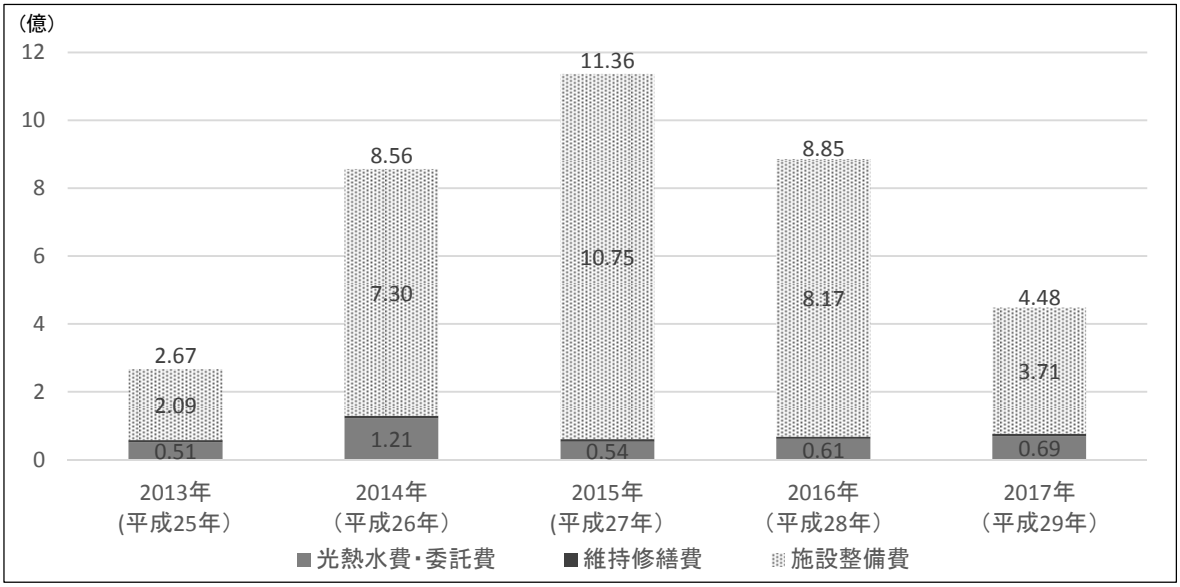
	実数値		推計値				
	2010年（平成22年）	2015年（平成27年）	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
就学前児童（0～5歳）	1,028	928	907	803	726	678	633
小学生（6～11歳）	1,032	973	896	863	789	706	652
中学生（12～14歳）	479	499	432	405	409	360	325
計	2,539	2,400	2,235	2,071	1,924	1,744	1,610

3　施設関連経費の推移

過去 5 年間の学校施設における施設整備費と施設管理費を合計した施設関連経費は、約 2.7 億円から 11.3 億円で、5 年間の平均は 7.2 億円/年となります。

今後、学校施設整備に充てられる経費は、町全体の予算調整を行う中で決定していくことになりますが、この 7.2 億円/年を「長寿命化によるコスト試算の比較と検証」における基準額として設定します。

図表 3-7　施設関連経費の推移



	種別	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)
施設整備費	小学校	21, 682	91, 965	83, 400	134, 019	139, 005
	中学校	187, 726	634, 949	991, 915	682, 951	232, 416
	幼稚園					
	計	209, 408	726, 914	1, 075, 315	816, 970	371, 421
維持修繕費	小学校	4, 363	4, 034	3, 679	3, 916	4, 942
	中学校	2, 229	3, 441	2, 905	2, 685	2, 044
	幼稚園	309	443	854	574	189
	計	6, 901	7, 918	7, 438	7, 175	7, 175
委託費	小学校	6, 552	8, 910		3, 500	
	中学校	1, 418	62, 980			5, 050
	幼稚園					
	計	7, 970	71, 890	0	3, 500	5, 050
光熱水費	小学校	22, 580	24, 657	26, 049	26, 424	28, 038
	中学校	18, 406	22, 426	24, 869	28, 791	33, 338
	幼稚園	2, 154	2, 474	2, 619	2, 560	2, 760
	計	43, 140	49, 557	53, 537	57, 775	64, 136
合計（千円）		267, 419	856, 279	1, 136, 290	885, 420	447, 782

4　学校施設の老朽化状況の実態

4－1　学校施設の劣化状況の評価

本町が管理する学校施設等について、劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を評価します。評価は「屋上・屋根、外壁」については目視により、「内部仕上げ、電気・機械設備」については経年劣化により、下表のA～D段階で評価します。

①目視による評価
（屋上・屋根、外壁）

評価	基準（解説書）
A	概ね良好
B	部分的に劣化 （安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化 （安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

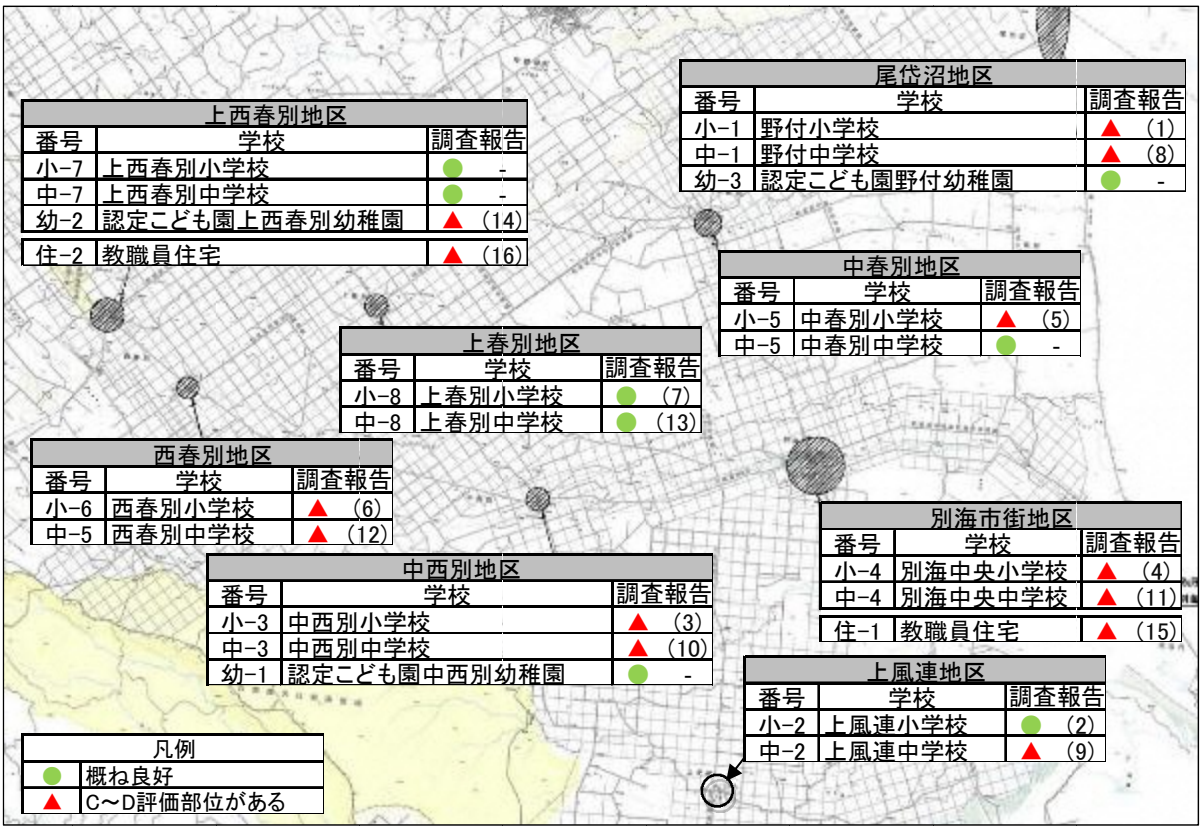
②経年劣化による評価
（内部仕上げ、電気・機械設備）

評価	基準（解説書）
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経年劣化に関わらず著しい劣化事象がある場合

4－2　学校施設の劣化状況調査

本町が管理する学校等について上記評価方法により劣化状況を把握した結果、下図に示す施設でC～D判定となる劣化部位がみられました。近年整備又は改修された施設を除く施設の劣化状況について次頁以降に整理します。

図表 3-8　劣化状況調査結果の概要



（１）野付小学校

・対象施設は階段室等の内壁や床にヒビ割れがみられます。
　なお、耐震改修は行われています。その他外壁等の劣化がみられます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎1	RC	2	2,596	S56	37	A	C	B	B	B
体育館	S	1	822	S56	37	D	D	D	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：内壁のヒビ割れ

校舎奥の階段部、内壁のヒビ、複数箇所有り。

階段室内壁のヒビ割れ

2：2F床のヒビ

写真は２階ワークスペース床。広範囲に複数箇所でみられる。

2F床のヒビ

3：外壁の塗装剥離（浮き）

塗装面が躯体から部分的に剥離。空気（水）等は侵入。複数箇所でみられる。

外壁（塗装浮き）

4：内壁ヒビ

写真は内壁のヒビ。

内壁ヒビ

5：サッシの老朽化

サッシ結露。シール等劣化により。

サッシ結露

6：屋上防水（改修済）

屋上防水は近年改修済み。良好な状態。

屋上防水（改修済み）

（２） 上風連小学校

・対象施設は近年、全面的に屋根、外壁他の改修を実施しています。現状での課題は屋内体育館の結露が発生しており、通気を確保するとともに、鉄骨等の再塗装保護が必要と思われます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎１	RC	2	1,212	S46	47	A	A	A	B	B
校舎２	S	1	215	H3	27	A	A	A	A	A
体育館	S	1	464	S47	46	A	A	C	C	C

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：体育館鉄骨部の結露

体育館天井等断熱改修後の鉄骨部の結露。換気口塞ぐ？による内部結露。(写真は8月室温30℃)

内部結露

2：鉄骨部の結露によるサビ

結露により鉄骨のサビと改修間もない断熱材のカビ。

結露による鉄骨錆び

3：内部結露による鉄骨からの水滴

写真は天井鉄骨からの水滴継続的に落下。(写真は8月室温30℃)

結露による水滴

4：体育館内壁の亀裂

写真は体育館内壁の亀裂。

体育館内壁の亀裂

5：改修による良好な屋根軒下

近年全面的に屋根（軒天）、外壁改修を実施。

近年改修された屋根･軒天

6：改修による良好な外壁

近年全面的に屋根（軒天）、外壁改修を実施。

近年改修された外壁

（３） 中西別小学校

・対象施設は外部屋上防水の劣化（アスファルト防水砂利敷き）、外壁サッシ周辺の劣化がみられます。施設内は天井の雨漏り跡の他、エキスパンジョイント部よりアリの侵入がみられます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎1	S	1	595	S40	53	C	C	C	C	C
校舎2	RC	2	1,340	S61	32	D	C	B	B	B
体育館	S	1	473	S47	46	A	A	A	C	C

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：屋上防水の劣化

屋上防水はアスファルト防水砂利敷き。防水層劣化。

屋上防水（劣化）

2：外壁サッシ周辺劣化

サッシ周りモルタル及び塗装剥離。校舎２。

サッシ周辺部の劣化

3：外壁サッシ周辺劣化

サッシ周りモルタル及び塗装剥離。校舎１。

サッシ周辺部の劣化

4：エキスパンジョイント、アリの侵入

写真は体育館渡り廊下のｴｷｽﾊﾟﾝｼﾞｮｲﾝﾄ部。アリが侵入し屋内側トイレ壁内に巣を作っている。

ｴｷｽﾊﾟﾝｼﾞｮｲﾝﾄ部のｼｰﾙ劣化

5：天井の雨漏り跡

写真は１Ｆ教材室。上部校舎増築部屋根からの雨水侵入による。

天井雨漏り部

6：雨漏り及びカビの繁殖（教材室横専用玄関）

写真５横の専用玄関内のカビ天井から内壁伝いに雨水の経年侵入による。

雨漏り跡（カビの繁殖）

（４）別海中央小学校

・対象施設は電気、機械、給排水、ガス管等全般的に更新が求められます。外部は屋根、外壁の補修の他、サッシ等の改修が望まれます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎1	RC	2	4,106	S51	42	C	C	C	C	C
校舎2	RC	2	800	H3	27	B	B	B	B	B
体育館	S	1	1,033	S53	40	B	B	C	C	C

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：設備老朽化

電気設備の老朽化（照明、ｹｰﾌﾞﾙ類、分電盤、受変電施設他）。
※機械室はｷｭｰﾋﾞｸﾙ室内設置可能規模であるが開口部に制限あり。

機械室

2：設備老朽化

暖房設備（電気暖房）の更新が必要。

暖房機

3：サッシの老朽化

空気層結露。既存サッシから断熱サッシ及び強化ガラス（ｽｸｰﾙﾃﾝﾊﾟ）に変更。ペアガラスのカバー工法も考えられる。

サッシ

4：屋根板金劣化

既存屋根板金は撤去。ｶﾞﾘﾊﾞﾘｳﾑ鋼板葺き替え。

屋根板金

5：内壁等劣化

内壁経年劣化。改修に併せ、破損部は修繕。

内装（トイレ天井）

6：外壁の塗装剥離（浮き）

塗装面が躯体から部分的に剥離。空気（水）等は侵入。複数箇所でみられる。

外壁（塗装浮き）

（５） 中春別小学校

・対象施設は外部屋上防水、トップコートの劣化、外壁塗装、タイル等の劣化がみられます。施設内はエントランスホール天井のトップライト部で雨漏り跡がみられます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎1	RC	2	1,222	S54	39	D	C	B	B	B
校舎2	RC	1	773	H4	26	D	C	B	B	B
校舎3	S	1	155	H22	8	A	A	A	A	A
体育館	S	1	787	H4	26	B	B	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：屋上防水の劣化

屋上防水トップコート劣化、部分的剥離。また、写真奥のトップライト周辺から雨漏り。

屋上防水（トップコート劣化）

2：エントランスホール天井の雨漏り跡

トップライトからの雨漏り。雨量、風向等により再発。

天井雨漏り部

3：外壁の亀裂

外壁、柱の亀裂。複数箇所散見。校舎2。

外壁（柱）亀裂

4：外壁タイル剥離

外装タイルの部分的亀裂、剥離。該当箇所コンクリートよりエフロレッセンスがみられる。校舎2。

外装タイル部分亀裂・剥離

5：外壁塗装の亀裂

外壁塗装部の木刷。校舎2。

外壁塗装亀裂

6：外壁の塗装剥離（浮き）

塗装面が躯体から部分的に剥離。空気（水）等侵入。散見。校舎1。

外壁塗装浮き（剥離）

（６） 西春別小学校

・対象施設は外部屋上防水のトップコート劣化、外壁のサッシ周辺の亀裂等の劣化がみられます。施設内は教室、廊下に使用されている木床の反りがみられます。その他、天井の雨漏り跡多数みられます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎１	RC	2	1,926	S63	30	B	C	C	B	C
体育館	RC	1	779	H2	28	B	C	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：屋上防水の劣化

防水トップコート劣化、部分的剥離。

屋上防水（トップコート劣化）

2:外壁サッシ周辺亀裂

サッシ等開口部四隅の放射状の亀裂。亀裂箇所から塗装剥離。

外壁の亀裂

3:基礎配筋のサビ

基礎コンクリートの中性化による鉄筋のサビに伴う膨張とコンクリートの崩壊。

基礎配筋のサビ・膨張

4：内部等劣化

内壁の経年劣化。汚れ。

内装劣化・汚れ（校長室）

5:床の反り

床材経年劣化。
教室及び廊下の木フローリングの反り、うねり。

床材の反り

6:天井の雨漏り跡

天井の雨漏り跡。２Ｆワークスペース、学習室２ほか。

天井の雨漏り跡

（７） 上春別小学校

・対象施設の外部は、一部外壁塗装に浮きが数か所みられる他は特に課題はみられません。施設内も雨漏り箇所が２か所みられる他は劣化等はみられません。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎１	RC	2	1,977	H2	28	A	A	B	B	B
体育館	S	1	823	H2	28	A	A	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1:雨漏り跡①

写真は２Ｆ奥、普通教室６と教材庫の間。雨量と風向により雨漏りが発生。

雨漏り箇所①

2:雨漏り跡②

写真は１Ｆ多目的ホール階段部。階段腰壁（巾木）と床の間から雨水が沁み出す。

床雨漏り部

床雨漏り部（拡大）

3:外壁の塗装浮き

外壁塗装部の浮き。

外壁塗装の浮き

4:外壁の塗装浮き

外壁塗装部の浮き。

外壁塗装の浮き

5:サッシ周り等シール類良好

施設は全体的にサッシ類に課題はみられない。

サッシシール（良好）

（８）野付中学校

・対象施設は外部屋上防水トップコートの劣化、外壁、サッシ周辺の劣化がみられます。施設内も雨漏り跡後や床材の劣化等の課題がみられます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎１	RC	1	521	S46	47	B	C	C	C	C
校舎２	RC	2	1,520	S62	31	B	C	B	B	B
体育館	S	1	849	S62	31	B	C	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：屋上防水の劣化

防水トップコート劣化。

屋上防水（トップコート劣化）

2：外壁サッシ周辺劣化

サッシ周囲のモルタル破損、剥離。

サッシ周辺の劣化

3：基礎モルタル亀裂

基礎モルタルの部分亀裂。雨の侵入により配筋のサビが進行していると思われる。

基礎モルタル亀裂（内部配筋サビ）

4：ガラスブロックシール劣化

写真は１Ｆホール部のガラスブロック、シール劣化、剥離の状態。

ガラスブロックシール剥離

5：屋根板金劣化（旧校舎棟）

旧校舎棟屋板金の劣化、部分的に錆びによる腐食がみられる。

屋根板金の劣化（旧校舎棟）

6：基礎モルタルの亀裂剥離

写真は旧校舎棟の基礎部分。モルタルの亀裂及び剥離の状態。

基礎モルタル亀裂・剥離

（９）上風連中学校

・対象施設は外部屋上防水、トップコートの劣化、外壁、サッシ周辺の劣化がみられます。施設内は特に劣化等の課題はみられません。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎１	RC	2	1,840	H9	21	D	C	B	B	B
体育館	RC	1	807	H9	21	D	C	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：屋上防水の劣化

防水トップコート劣化、部分的剥離。

屋上防水（トップコート劣化）

2：外壁の劣化

外壁の亀裂。複数箇所でみられる。

外壁亀裂

3：屋外階段の亀裂・破損

写真は２Ｆ校舎屋上から体育館屋上に向かう屋外階段。踊り場周辺でコンクリートの亀裂。破損。

屋外階段破損

4：外壁塗装剥離

写真は外壁の浮き、剥離。複数箇所でみられる。

塗装劣化（剥離）

5：外壁の劣化

サッシ周りの充填モルタル等の剥離。

サッシ下部充填モルタル隔離

6：基礎モルタルの剥離

１Ｆｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ室基礎ﾓﾙﾀﾙの広範囲な剥離。

基礎モルタルの剥離（帯状一面）

（１０）中西別中学校

・対象施設は外部屋上防水、トップコートの劣化、外壁、サッシ周辺の劣化がみられます。施設内は特に劣化等の課題はみられません。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎１	RC	2	1,793	H12	18	C	B	A	A	A
体育館	RC	1	835	H13	17	C	B	A	A	A

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：屋上防水の劣化

防水トップコート劣化、部分的剥離。

屋上防水（トップコート劣化）

2：屋外階段の亀裂・破損

写真は２Ｆ校舎屋上から体育館屋上に向かう屋外階段。踊り場周辺でコンクリートの亀裂。破損。

屋外階段破損

3：外壁塗装剥離

写真はエントランス部の腰壁。塗装剥離によりコンクリート表面よりエフロレッセンスがみられる。

塗装劣化（剥離）

4：外壁の破損

サッシ周辺の外壁亀裂。

サッシ周辺の外壁亀裂

5：外壁塗装の劣化

サッシ周りの塗装劣化剥離。

塗装劣化（剥離）

6：外壁の劣化

サッシ周りの充填モルタル等の剥離。

サッシ下部充填モルタル隔離

（１１）別海中央中学校

・対象施設は屋上防水及び笠木の劣化が進行しています。特に笠木はサビによる破損も各所にみられ、一部は雨水が侵入しています。その他は外壁の劣化箇所が多数みられます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎１	RC	2	3,501	S58	35	D	C	B	B	B
校舎２	RC	1	214	H8	22	C	C	B	B	B
体育館	S	1	1,000	S59	34	B	B	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：屋上防水の劣化

屋上防水はアスファルト防水砂利敷き。防水層劣化。

屋上防水（アスファルト防水）

2：笠木劣化

笠木はいたるところでサビ・破損がみられる。写真はエキスパンジョイント部。雨水が侵入していると思われる。

笠木（エキスパンジョイント部）

3：内装劣化（天井等からの雨漏り）

写真は天井雨漏り跡。写真２エキスパンジョイント部。３Ｆのみならず２Ｆ部も雨漏り跡がみられる。

天井雨漏り跡

4：外壁の破損

外壁笠木周辺のシール及び充填モルタル等の劣化剥離。

コンクリート柱下部（2F屋上）

5：外壁の劣化

サッシ周りのシール及び充填モルタル等の劣化剥離。

サッシ周り

6：外壁の劣化

外壁塗装面の劣化による剥離。

外壁塗装剥離

（１２）西春別中学校

・対象施設は外部屋上防水のトップコート劣化、外壁のサッシ周辺の劣化、玄関ポーチタイル剥離等がみられます。施設内は部分的に天井に雨漏り跡がみられます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎１	RC	2	2,210	H5	25	D	C	B	B	B
体育館	RC	1	831	H6	24	D	C	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：屋上防水の劣化

防水トップコート劣化、部分的剥離。

屋上防水（トップコート劣化）

2：外壁サッシ周辺劣化

サッシ下部充填モルタル及び塗装剥離。

サッシ下部充填モルタル隔離

3：玄関脇腰壁の塗装劣化

広範囲の塗装浮き、剥離。

外壁塗装剥離

4：基礎モルタル剥離

基礎モルタルの部分剥離。配筋のサビと膨張による崩壊。

基礎モルタルの剥離

5：玄関ポーチ床タイル剥離

ポーチ部の広範囲なタイル剥離。

玄関ポーチ床タイル剥離

6：天井の雨漏り跡

天井雨漏り跡。写真は放送室天井。長期的雨漏り被害と思われる。

天井雨漏り跡（放送室）

（１３）上春別中学校

・対象施設は近年改修が行われ屋根外壁に課題はみられません。校舎内部は改修対象ではないため、内壁等で劣化箇所が数箇所みられる他、増築プレハブ棟の外壁で破損箇所が確認できます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎１	S	2	1,271	S44	49	A	A	B	B	B
校舎２	S	1	259	H10	20	A	A	B	B	B
体育館	S	1	498	S46	47	A	A	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1：外壁（塗装改修済み）

近年、外装改修済みのため、壁面塗装は良好。

外壁（改修済み）

2：屋根（塗装改修済み）

近年、外装改修済みのため、屋根塗装は良好。

屋根（改修済み）

3：内壁の亀裂

写真は教材室、一部内壁に亀裂。

内壁ﾋﾋﾞ（1F教材室）

4：フード破損

落雪等による破損。

フード破損

5：外壁の破損（ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ棟）

増築プレハブ棟外壁の破損。

外壁破損（増築プレハブ棟）

6：外壁鉄骨のサビ（ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ棟）

増築プレハブ棟鉄骨のサビ。

外壁鉄骨サビ（増築プレハブ棟）

（１４）上西春別幼稚園

・対象施設は外壁、サッシ周辺の劣化（亀裂、モルタル剥離）が複数みられます。施設内は特に劣化等の課題はみられません。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
園舎	RC	1	689	H11	19	C	C	A	A	A

＜施設の状況・代表的な課題＞

1:外壁の亀裂

正面外壁部の亀裂。

外壁亀裂

2:外壁の亀裂

外壁亀裂、塗装剥離。

外壁塗装亀裂･剥離

3:サッシ周り外装亀裂

写真は施設正面のサッシ周り。亀裂により壁内よりサビ表出。

外壁塗装亀裂･剥離

4:外壁塗装剥離

外壁サッシ周辺での塗装剥離。散見。

外壁塗装剥離

5:サッシ周りの劣化

サッシ周りのシール及び充填モルタル等の劣化剥離。

サッシ周り充填モルタル剥離

6:サッシ周りの劣化

サッシ周りのシール及び充填モルタル等の劣化剥離。

サッシ周り充填モルタル剥離

（１５）教職員住宅（別海市街地区）

・対象施設は外壁、サッシ周辺の劣化（亀裂、塗装剥離）が複数みられます。その他共用階段部等で打継部周辺の亀裂とそれに伴う塗装の剥離等がみられます。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
住宅	RC	2	579	H3	27	B	C	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1:外壁の亀裂

正面外壁部窓の放射状の亀裂。写真は補修跡。

外壁亀裂

2:屋根塗装の劣化

屋根塗装の劣化、変色。

屋根塗装の劣化(変色)

3:玄関ポーチ破損

玄関ポーチ角の破損。

玄関ポーチ破損

4:外壁塗装剥離

外壁サッシ周辺での塗装剥離。散見。

外壁塗装剥離

5:共用階段亀裂、塗装剥離

共用階段内部の劣化状況。打継部と思われる箇所での亀裂とそれに伴う塗装剥離。

供用階段部の亀裂･塗装剥離

6:屋上防水

供用玄関上部の屋上防水。汚れはみられるが防水層の膨れ、亀裂等はみられない。

屋上防水

（１６）教職員住宅（上西春別地区）

・対象施設は外壁、サッシ周辺の劣化（亀裂、塗装剥離）が複数みられます。施設内は特に劣化等の課題はみられません。

劣化状況評価

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度		劣化状況				
				和暦	築年数	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
住宅	RC	2	579	H5	25	B	C	B	B	B

＜施設の状況・代表的な課題＞

1:外壁の亀裂

正面外壁部の亀裂。塗装剥離。

外壁亀裂

2:外壁塗装剥離

共用玄関上部庇の劣化塗装剥離。

外壁塗装剥離

3:屋根周辺

屋根軒周辺の状況。破損等はみられないが塗装は若干劣化状況。

屋根(軒)周辺の状況

4:外壁塗装剥離

外壁サッシ周辺での塗装剥離。散見。

外壁塗装剥離

5:外壁塗装剥離

外壁サッシ周辺での塗装剥離。散見。

外壁塗装剥離

6:屋外照明

照明柱の傾斜。現状で機能的には問題はない。

屋外照明柱の傾斜

４－３　構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

学校施設の劣化状況は健全度が過半以下の全般的に劣化が顕著な建物の他、屋上防水等の部位でＤ判定となる施設も多数みられます。

図表 3-9 学校施設の劣化状況評価

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積（㎡）	建築年度		築年数	構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
							西暦	和暦		耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）	
										基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度（N/㎟）	試算上の区分							
1	2734	野付小学校	校舎1	RC	2	2,596	1981	S56	37	旧	済	済	H19	25	長寿命	A	C	B	B	B	67	
2	2734	野付小学校	体育館	S	1	822	1981	S56	37	旧	済	済	H19	30.9	長寿命	D	D	D	B	B	27	
3	2735	上風連小学校	校舎1	RC	2	1,212	1971	S46	47	旧	済	－	H21	18	長寿命	A	A	A	B	B	94	H29大規模
4	2735	上風連小学校	校舎2	S	1	215	1991	H3	27	新						A	A	A	A	A	100	H29大規模
5	2735	上風連小学校	体育館	S	1	464	1972	S47	46	旧	済	済	H21	29.4	長寿命	A	A	C	C	C	62	H29大規模
6	2741	中西別小学校	校舎1	S	1	595	1965	S40	53	旧	済	－		17.6	長寿命	C	C	C	C	C	40	
7	2741	中西別小学校	校舎2	RC	2	1,340	1986	S61	32	新	済	－		20	長寿命	D	C	B	B	B	59	
8	2741	中西別小学校	体育館	S	1	473	1972	S47	46	旧	済	済	H20	22.3	長寿命	A	A	A	C	C	85	
9	2745	別海中央小学校	校舎1	RC	2	4,106	1976	S51	42	旧	済	－	H9	20	長寿命	C	C	C	C	C	40	
10	2745	別海中央小学校	校舎2	RC	2	800	1991	H3	27	新	－	－				B	B	B	B	B	75	
11	2745	別海中央小学校	体育館	S	1	1,033	1978	S53	40	旧	済	済	H9,H2(	31.3	長寿命	B	B	C	C	C	53	H20板金
12	2749	中春別小学校	校舎1	RC	2	1,222	1979	S54	39	旧	済	－	H21	31.3	長寿命	D	C	B	B	B	59	
13	2749	中春別小学校	校舎2	RC	1	773	1992	H4	26	新	－	－				D	C	B	B	B	59	
14	2749	中春別小学校	校舎3	S	1	155	2010	H22	8	新	－	－				A	A	A	A	A	100	
15	2749	中春別小学校	体育館	S	1	787	1992	H4	26	新	－	－				B	B	B	B	B	75	
16	2756	西春別小学校	校舎1	RC	2	1,926	1988	S63	30	新	－	－				B	C	C	B	C	48	H17ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ
17	2756	西春別小学校	体育館	S	1	779	1990	H2	28	新	－	－				B	C	B	B	B	65	H17ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ
18	2758	上西春別小学校	校舎1	RC	2	1,634	1982	S57	36	新	－	－				A	A	B	B	B	84	H28大規模
19	2758	上西春別小学校	校舎2	RC	2	1,917	1991	H3	27	新	－	－				A	A	B	B	B	84	H28大規模
20	2758	上西春別小学校	体育館	RC	1	1,036	1992	H4	26	新	－	－				A	A	B	B	B	84	H28大規模
21	2763	上春別小学校	校舎1	RC	2	1,977	1990	H2	28	新	－	－				A	A	B	B	B	84	H26大規模
22	2763	上春別小学校	体育館	S	1	823	1990	H2	28	新	－	－				A	A	B	B	B	84	H26大規模
23	5180	野付中学校	校舎1	RC	1	521	1971	S46	47	旧	済	－	H19	17.6	長寿命	B	C	C	C	C	43	H28屋上防水
24	5180	野付中学校	校舎2	RC	2	1,520	1987	S62	31	新	－	－				B	C	B	B	B	65	H28屋上防水
25	5180	野付中学校	体育館	S	1	849	1987	S62	31	新	－	－				B	C	B	B	B	65	H28屋上防水
26	5181	上風連中学校	校舎1	RC	2	1,840	1997	H9	21	新	－	－				D	C	B	B	B	59	
27	5181	上風連中学校	体育館	RC	1	807	1997	H9	21	新	－	－				D	C	B	B	B	59	
28	5182	中西別中学校	校舎1	RC	2	1,793	2000	H12	18	新	－	－				C	B	A	A	A	88	
29	5182	中西別中学校	体育館	RC	1	835	2001	H13	17	新	－	－				C	B	A	A	A	88	
30	5183	別海中央中学校	校舎1	RC	2	3,501	1983	S58	35	新	－	－				D	C	B	B	B	59	
31	5183	別海中央中学校	校舎2	RC	1	214	1996	H8	22	新	－	－				C	C	B	B	B	62	
32	5183	別海中央中学校	体育館	S	1	1,000	1984	S59	34	新	－	－				B	B	B	B	B	75	H20改修
33	5184	西春別中学校	校舎1	RC	2	2,210	1993	H5	25	新	－	－				D	C	B	B	B	59	
34	5184	西春別中学校	体育館	RC	1	831	1994	H6	24	新	－	－				D	C	B	B	B	59	
35	5185	中春別中学校	校舎1	RC	2	2,473	2014	H26	4	新	－	－				A	A	A	A	A	100	H26改築
36	5185	中春別中学校	体育館	S	1	916	2016	H28	2	新	－	－				A	A	A	A	A	100	H27改築
37	5188	上西春別中学校	校舎1	RC	2	2,695	2016	H28	2	新	－	－				A	A	A	A	A	100	H28改築
38	5188	上西春別中学校	体育館	RC	1	1,067	2018	H30	0	新	－	－				A	A	A	A	A	100	H30改築
39	5190	上春別中学校	校舎1	S	2	1,271	1969	S44	49	旧	済	済	H21	18	長寿命	A	A	B	B	B	84	H26大規模
40	5190	上春別中学校	校舎2	S	1	259	1998	H10	20	新	－	－				A	A	B	B	B	84	H26大規模
41	5190	上春別中学校	体育館	S	1	498	1971	S46	47	旧	済	済	H21	18	長寿命	A	A	B	B	B	84	H26大規模
42	7392	中西別幼稚園	園舎	S	1	333	1974	S49	44	旧	済	－	H24	31.6	長寿命	A	A	B	B	B	84	H23大規模
43	7393	上西春別幼稚園	園舎	RC	1	689	1999	H11	19	新	－	－				C	C	A	A	A	78	
44	7394	野付幼稚園	園舎	W	1	638	2003	H15	15	新	－	－				A	A	A	A	A	100	

第４章　学校施設整備の基本的な方針

１　学校施設を取巻く状況の整理

基本的な方針を整理する上で、本町において考慮すべき学校施設を取巻く状況を次のとおりとします。

◆少子高齢化の進展と地区人口・子どもの数の減少

➢昭和 35 年（1960 年）の 21,878 人をピークに人口減少が続き、平成 27 年（2015 年）には 15,273 人と約 7 割にまで減少しています。

➢約 10 年後となる 2030 年の人口推計では、さらに 13,508 人まで減少すると推計されています。

➢学校が整備され、地区人口が千人以下に減少した地区は中西別地区、上風連地区、西春別地区の 3 地区となっています。

➢上記 3 地区の生徒数は、小学校は全校生徒が 50 人以下に減少、中学校は 30 人以下に減少しています。

◆公共施設内で最も管理床面積が大きい学校施設

➢本町は北海道内で 6 番目に広い面積を有し、地区も広範囲に分散しています。
また、学校区は 8 校区となっており、それぞれに小学校及び中学校が整備されています。

➢別海町公共施設等総合管理計画（平成 28 年（2016 年）9 月）では、本町が所有・管理する公共施設等は 653 棟、約 23.5 万㎡としていますが、そのうち、学校教育関連施設は約 6.1 万㎡で、分野別の面積では、2 番目に多い公営住宅 3.1 万㎡の約 2 倍の面積を管理しています。

◆築 30 年を超える施設が床面積割合で全体の５０％

➢平成 30 年度(2018 年度)現在、本町が所有する学校施設は 44 棟あり、延床面積は約 5.3 万㎡となっています。

➢築年数別では、築 40 年以上の施設が全体の約 20.2%、築 30 年以上の施設は 51.2%と過半を占めています。

➢昭和 57 年（1982 年）以前の旧耐震基準で建てられた学校施設については 13 棟が該当しますが、これら耐震化が必要な施設については優先的に改修を進め、耐震補強は対応済みとなっています。

➢また、上記施設のうち、近年、上風連小学校、上西春別小学校、上春別小学校及び上春別中学校においては、老朽改修（大規模改修）を順次進めていますが、管理施設数が多いことから、引続き大規模な改善や老朽部位の個別改修等の対応が必要な施設が、依然多数残されています。

2　学校施設のめざすべき姿

学校施設のめざすべき姿は、今後の学校施設整備の取組みにおいて実現すべき目標像となります。以下は、文部科学省の諮問会議等において示された「安全性」「快適性」「学習活動への適応性」「環境への適応性」「地域の拠点化」の観点により示されたものですが、以下の項目を目標像の基本とし、適切な改築や改修等の施設整備を行います。

図表 4-1　学校施設のめざすべき姿（学校施設整備基本構想の在り方について H25 年 3 月）

1　安全性	
◆災害対策	◇地震・津波・洪水に強い学校施設 ◇防災機能を備えた学校施設
◆防犯・事故対策	◇安全で安心な学校施設
2　快適性	
◆快適な学習環境	◇学習能率の向上に資する快適な学習環境 ◇バリアフリーに配慮した環境ほか
◆教職員に配慮した環境	◇教職員に配慮した空間、 ◇教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要なＩＣＴ環境ほか
3　学習環境への適応性	
◆主体性を養う空間の充実	◇子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ◇子どもたちの教科等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間 ◇子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間 ◇社会性を身に付けるための空間ほか
◆効果的・効率的な施設整備	◇習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間 ◇調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間 ◇各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 ◇各教科等の授業を充実させるための環境
◆言語活動の充実	◇各教科等における発表･討論などの教育活動を行うための空間 ◇子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ◇各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境
◆理数教育の充実	◇充実した観察・実験を行うための環境
◆運動環境の充実	◇充実した運動ができる環境
◆伝統や文化に関する教育の充実	◇伝統や文化に関する教育を行うための環境
◆外国語教育の充実	◇外国語活動等におけるｼﾞｪｽﾁｬｰｹﾞｰﾑなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間
◆学校図書館の活用	◇子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ◇地域の生涯学習の拠点となる学校施設ほか
◆キャリア教育・進路指導の充実	◇充実したキャリア教育･進路指導を行うための環境
◆食育の充実	◇食育のための空間
◆特別支援教育の推進	◇バリアフリーに配慮した環境 ◇自閉症、情緒障害又はＡＤＨＤ等のある児童生徒に配慮した学校施設
◆環境教育の充実	◇地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール
4　環境への適応性	
	◇環境を考慮した学校施設
5　地域の拠点化	
	◇安全で安心な学校施設 ◇バリアフリーに配慮した環境 ◇地域に開かれた学校とするための環境 ◇地域の生涯学習の拠点となる学校施設

3　学校施設整備の基本方針

（１）学校施設長寿命化計画の基本方針

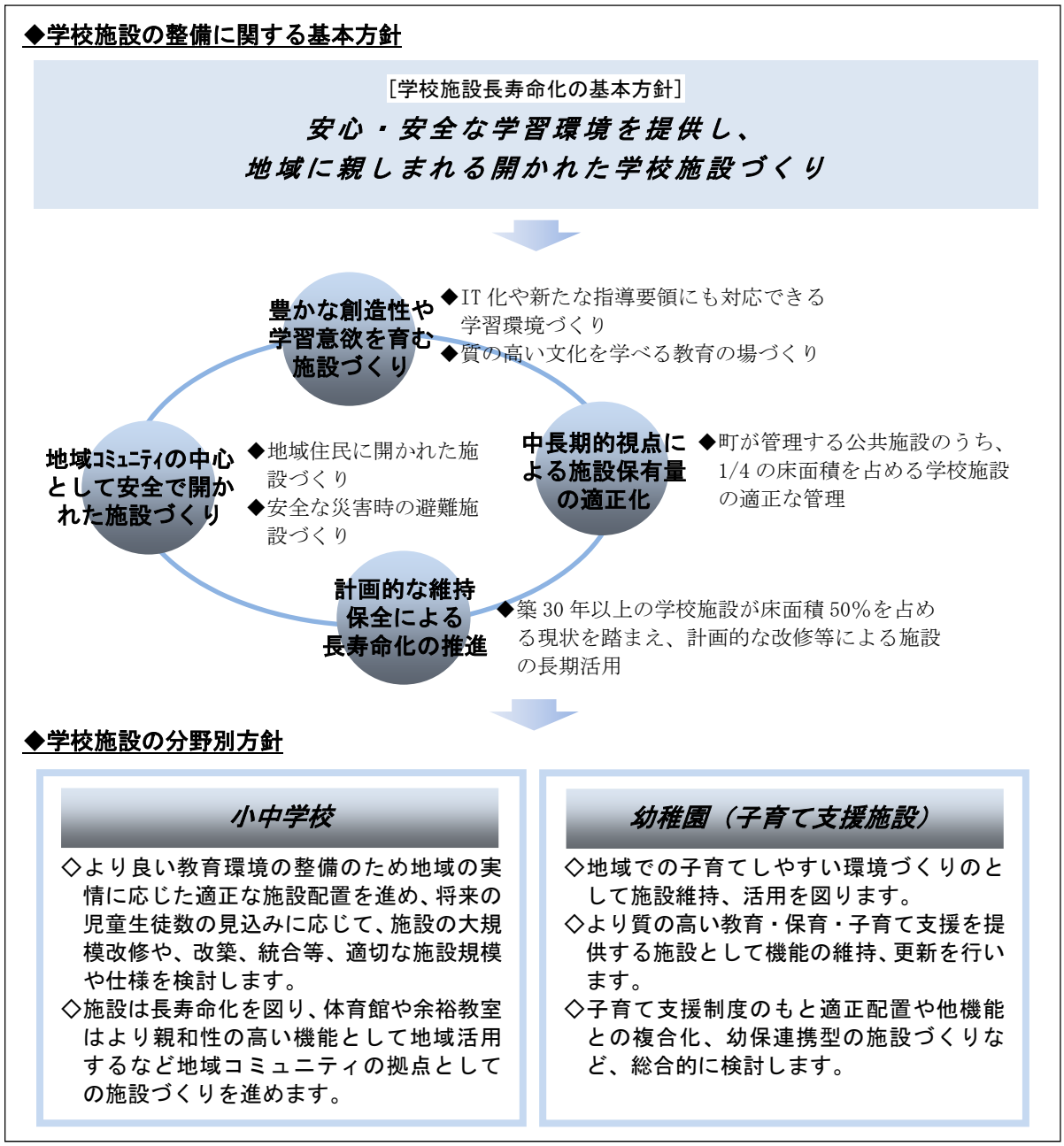
学校施設を取巻く状況、学校施設の老朽化状況を踏まえ、本町における今後の学校施設の整備や維持管理に関する方向性を基本方針として設定します。

学校施設は生徒にとっては一日の大半を過ごす授業の場、教育の場として機能することはもとより、生徒と教師が過ごす生活の場や、地区にとっては災害時の避難場所の役割も果たすことから、安全で安心できる環境の維持が求められます。

しかしながら、近年の少子高齢化の進展に加え、町の財政負担の軽減、予算の平準化を勘案すると、今後はこれまでのように改築を中心とする老朽施設の更新から、改修等による施設の長期活用を基本に、地区の状況及び将来的な児童生徒数の予測に基づいた、施設毎の適正な維持管理を行う必要があります。

このことから、今後の学校施設整備の基本方針は以下のとおりとします。

図表 4-2　学校施設の整備に関する方針



（２）学校施設の配置計画方針

本町の地勢的な特徴である地区の分散配置の特性や、近年の学校施設を取巻く状況を踏まえ、学校施設の配置方針を以下に設定します。

図表 4-3　学校施設の配置方針

＜別海町の学校施設を取巻く状況＞

◆少子高齢化の進展と地区人口・子どもの数の減少

◆公共施設内で最も管理床面積が大きい学校施設

◆築 30 年を超える施設が床面積割合で全体の５０％

＜学校施設の配置計画の方針＞

人口規模や行政、産業、暮らしなど、特性が異なる地区の状況に応じた学校施設の適正配置に向け、地区ごとの配置方針を次のとおり設定します。

◆別海市街地区（人口 40%以上）---[長期維持管理]

➢町人口の 40%以上が居住する地区として、構想期間（40 年）は長期的に施設の維持活用を想定する地区。

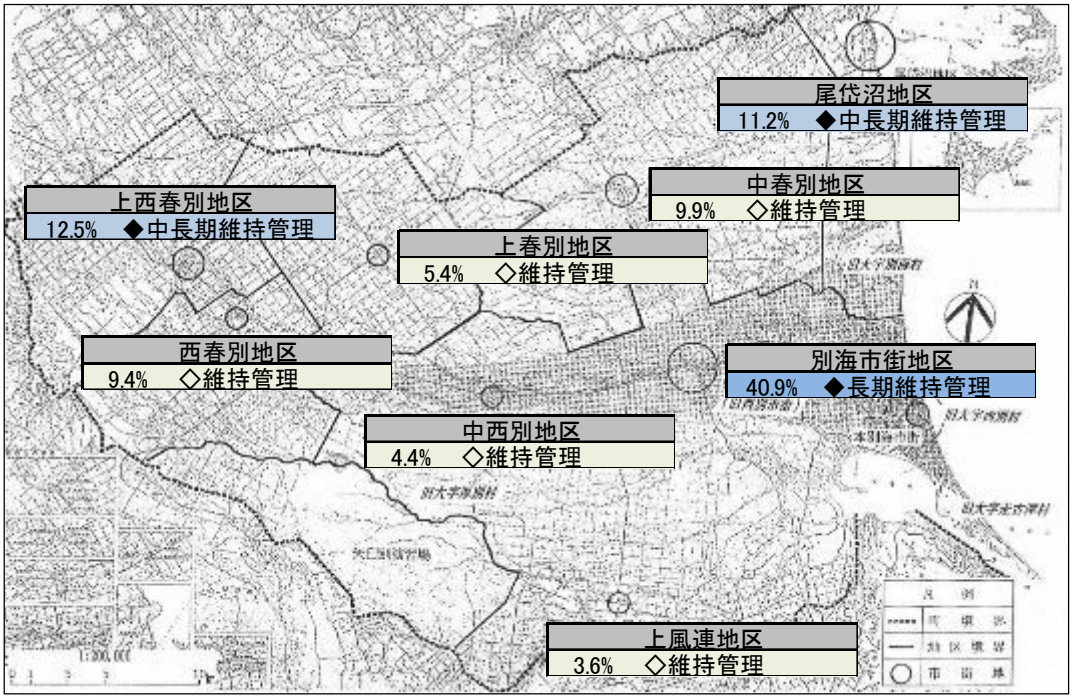
◆上西春別、尾岱沼地区（人口 10%以上）---[中長期維持管理]

➢町人口の 10%以上が居住する地区として、構想期間内（20～30 年）は中長期的に施設の維持活用を想定する地区。

◆中春別、上春別、西春別、中西別、上風連地区（人口 10%以下）---[維持管理]

➢地区人口（子どもの数）が減少傾向にあり計画期間内（10 年）は施設の維持活用を想定する地区。

➢計画期間以降は子どもの数や学校施設の劣化状況等を勘案し、維持活用について再度検討を行う。



4　施設の長寿命化に向けた改修周期の設定

（１）施設の使用年数と改修周期の設定

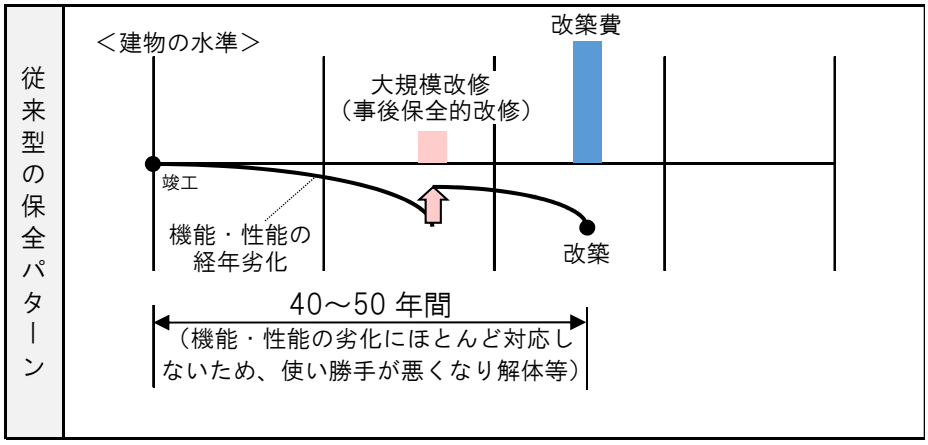
基本方針の実現に向け従来の改築を基本とする施設の更新から、長寿命化等により使用年数の長期化を図ります。原則として大規模改修は 20 年、長寿命化改修は 40 年と設定します。

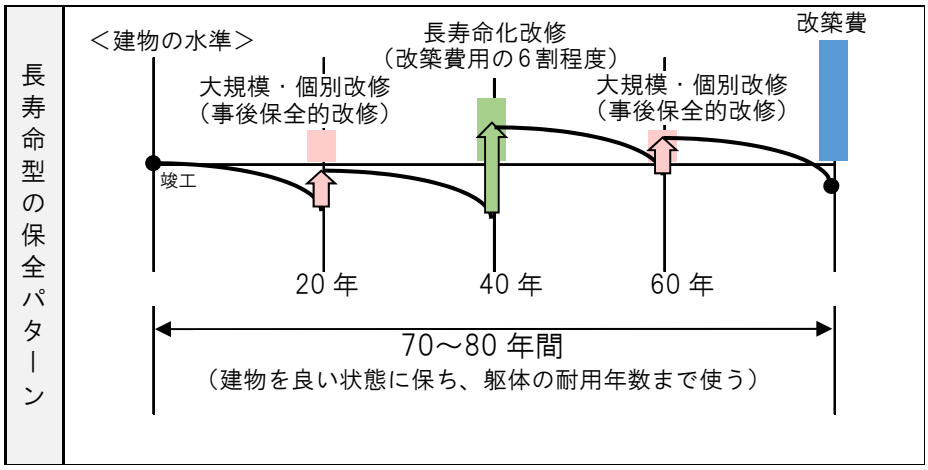
＜施設の使用年数・改修周期等の設定＞

◆使用年数……70～80 年程度

◆長寿命化改修……40～50 年程度

◆大規模改修……20～30 年程度





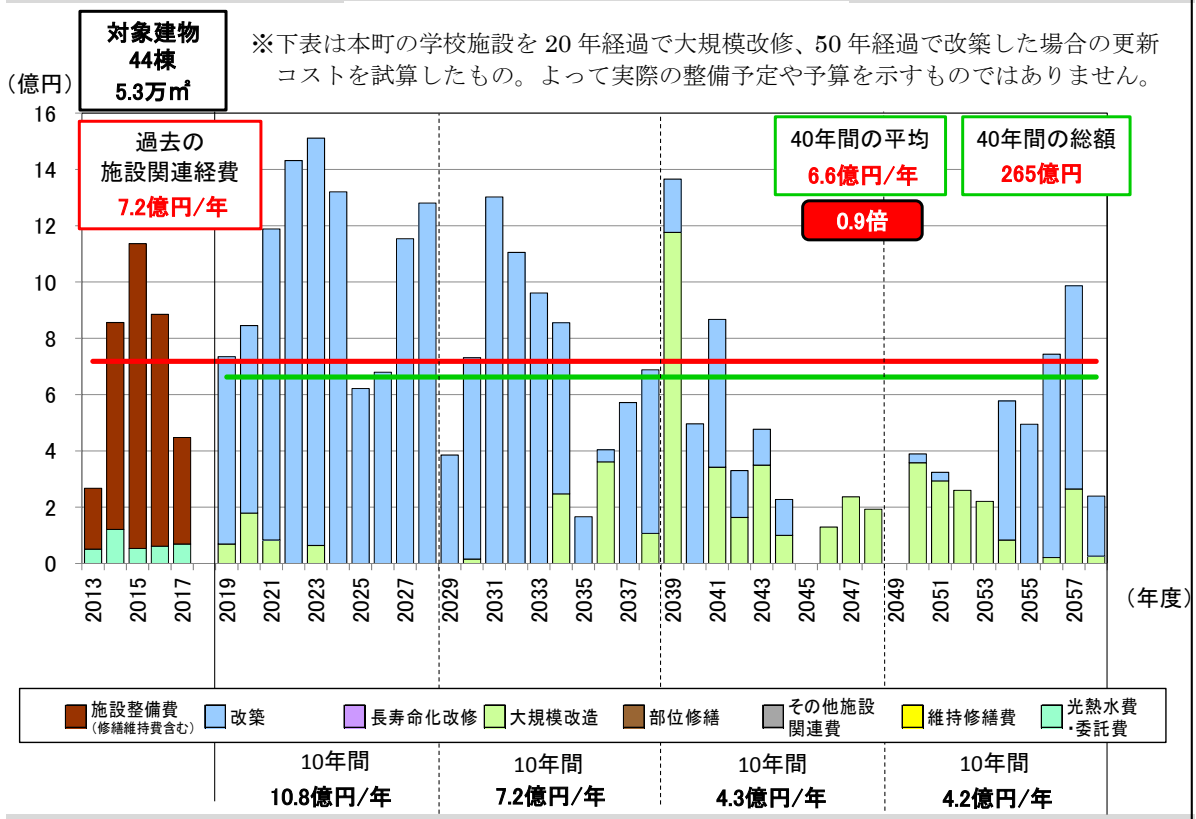
＜改修工事の内容＞

個別改修 （経年劣化部位改修）	大規模改修 （原状回復複合改修）	長寿命化改修 （原状回復+機能向上改修）
・個別部位ごとの経年劣化等による躯体への影響予防に資する改修	・経年劣化による損耗や機能低下回復に向けた複合改修工事	・経年劣化による機能回復工事と、社会的要求に対応する性能向上改修工事
◆劣化部位毎の個別改修 ・屋上防水改修（部分） ・外壁改修（部分） ・劣化部位修繕 ・故障、不具合修繕など	◆屋上防水改修（全面） ◆外壁改修（全面） ◆設備機器の更新（部位） ◆著しい劣化部位の修繕 ◆故障、不具合改修ほか	◆防水改修（断熱化） ◆外壁改修（外断熱等） ◆開口部改修（断熱化） ◆全面的な設備更新（電気、給排水ほか） ◆内部改修

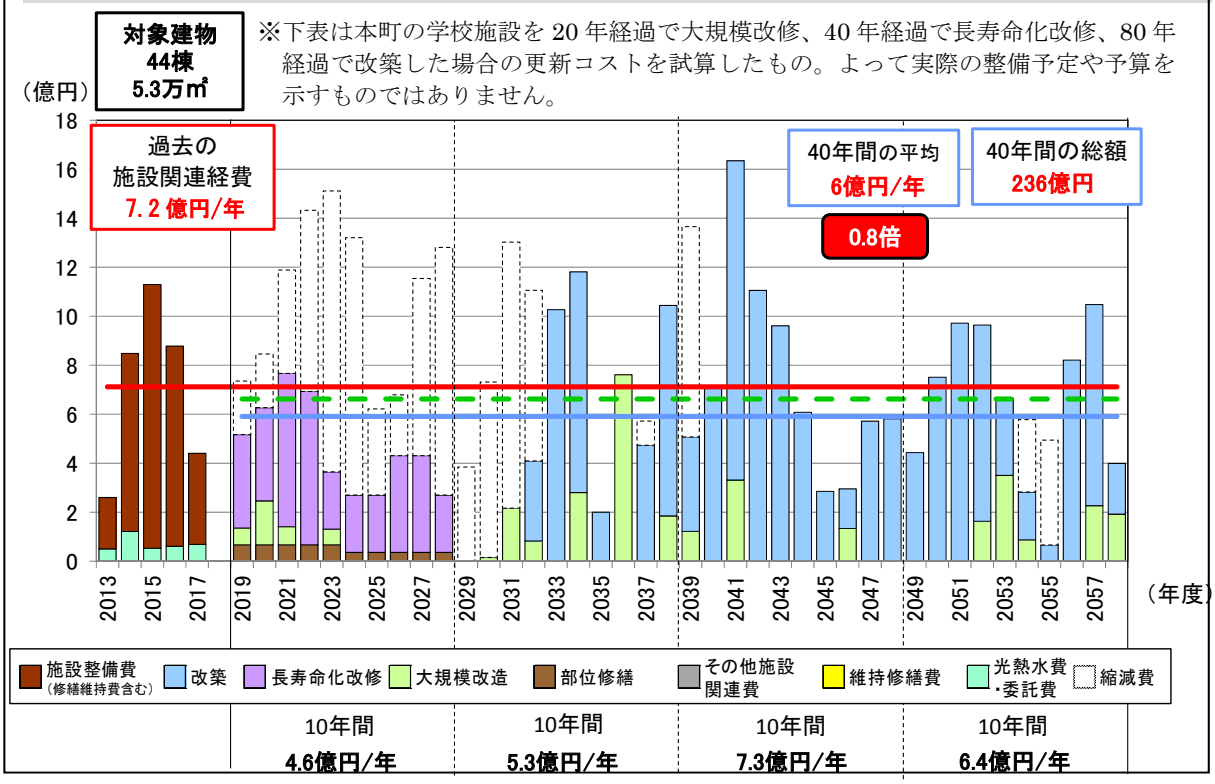
（２）長寿命化によるコスト試算の比較と検証

長寿命化改修等により、施設の更新周期を 50 年から 80 年に伸ばした場合の維持更新コストの試算は以下となります。40 年平均で年間約 6 千万円のコスト削減が見込めます。

＜今後の維持・更新コストの試算（従来型）＞

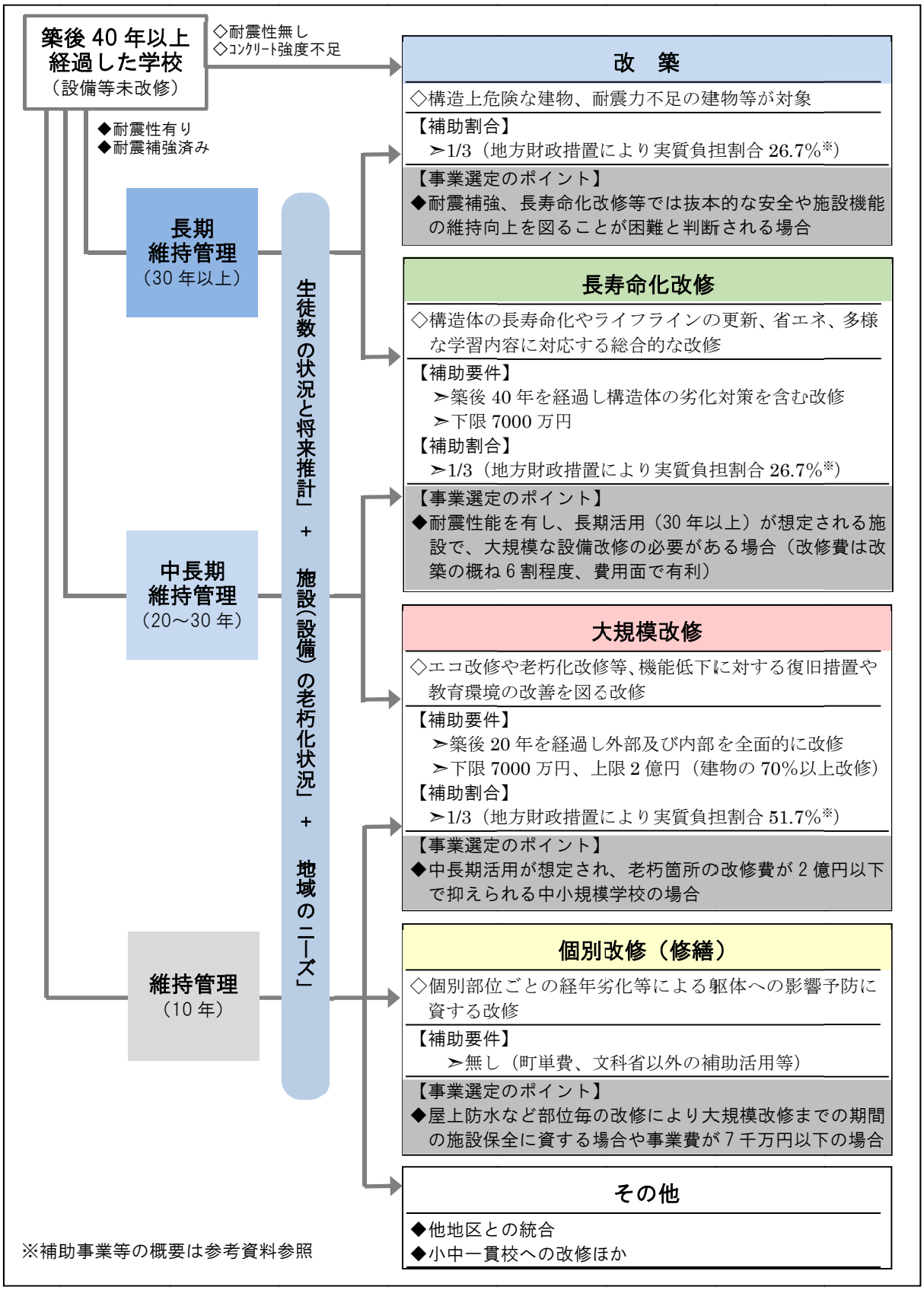


＜今後の維持・更新コスト（長寿命化型）＞



5　学校施設の改築・改修に関する選定方針

改修周期の設定を踏まえると、築後 20 年を経過した施設は、部位毎の個別改修又はこれらを組合せた大規模改修とし、築後 40 年以上を経過した施設は、長寿命化改修を原則としながら、学校施設の配置計画方針に応じた以下のフローにより事業を選定します。



6　基本的な方針を踏まえた施設整備の水準

整備レベルのうち、改築レベルについては、近年整備された中春別中学校の仕様を基準として設定します。（※設備については改築時の比較検討の上、方式を選定）

改修のうち、長寿命化の外部仕上げについては改修後 30 年使用を想定した高耐久仕様とし、その他、省エネ、バリアフリー、防災等機能についても既存施設の状況に応じ可能な仕様向上を行います。

また、大規模改修については、主に施設の劣化保護を目的とした外部仕上げの改修をメインに行います。

図表 4-4　施設整備水準

部位		整備レベル			（修繕レベル）	既存整備レベル
		改築	改修			
			長寿命化	大規模		
外部仕上げ	屋根	ガルバリウム鋼板葺	ガルバリウム鋼板葺替	全面塗装（破損部部分補修）	部分塗装（部分補修）	板金
	屋上	ウレタン塗膜複合防水外断熱工法	ウレタン防水・全面（10年保障）		ウレタン防水（部分補修）	建設時仕様
	外壁	外断熱工法（ガルバリウム・他）	外断熱工法（ガルバリウム・他）	全面塗装（クラック部補修）	浮き部補修 クラック補修、等	複層塗材 内断熱
	開口部	断熱サッシ（Low-eペアガラス）	断熱サッシ交換 or カバー工法	シーリング打替え 開閉調整		スチールサッシ アルミサッシ
内部仕上げ	内部仕上げ（教室等）	－	内装の全面撤去・更新	床補修 壁・天井塗替え	部分修繕	建設時仕様
	トイレ	内装ドライ化 洋式化	内装全面改修 ドライ化 洋式化（半数）	床補修 壁・天井塗替え	部分修繕	ウエット（タイル貼） 和式
省エネ	電気設備	LED照明（人感センサー、照度センサー）			蛍光灯更新	蛍光灯
	給排水衛生設備	節水型便器 小便器（センサー）		－	－	建設時の便器
	空調設備	※ ヒートポンプ エアコン	暖房既存仕様更新、24換気	－	－	暖房電気中央方式 換気扇
	太陽光発電	※ 太陽光パネル設置（モニター表示）	－	－	－	－
バリアフリー	建築	スロープ 手すり	玄関スロープ設置・改修		－	－
	トイレ	多目的トイレ（車イス対応）	洋式化改修（手すり設置）	－	－	－
	昇降機	階段昇降機設置 対応電源設置	利用者に応じ階段昇降機設置	－	－	－
防災・防犯	建築（耐震性能）	－	耐震改修		－	－
	インターホン	テレビモニター付インターホン・カメラ付きドアホン		－	－	－
	災害備蓄庫	※備蓄庫整備	－	－	－	－

第５章　長寿命化の実施計画

１　改修等の優先順位づけと実施計画

今後 10 年間の計画期間は、整備費を平準化し計画的に実施します。施設の劣化状況と施設の配置計画方針に基づき、長期維持管理とする施設のうち 40～50 年を経過した施設は長寿命化改修の対象とします。

躯体に悪影響を及ぼす劣化部位等は、計画期間前期 5 年で改修するとともに、早急に改修が必要と思われる設備や、施策への対応として機能向上を図る設備についても、計画期間内で計画的に個別改善を行います。

図表 5-1　改修等の優先順位付けと事業量の基準

改修項目			改修内容	改修方針（優先項目）
①長寿命化改修			③～⑤全該当（改修済除く）	５か年１校実施
②大規模改修			③該当（一部④老朽設備含む）	５か年１校実施
部位改修	③ Ｄ評価 改修	屋根・ 屋上防水改修	屋根：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板葺替 防水：ｳﾚﾀﾝ防水新規施工	屋根・屋上防水は計画期間前期５年で解消（小１校、中３校）
		外壁改修	外断熱化、ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板新規施工等	長寿命化改修、大規模改修時にあわせて実施
		内装改修	床、壁、天井等の老朽部位改修	
	④ 設備等の大きなコストがかかる更新サイクルへの対応	給排水設備	既存設備の更新	長寿命化型改修時にあわせて更新（給排水、暖房設備等は老朽状況により大規模改修時に更新）
		暖房設備	既存設備の更新	
		ガス設備	既存設備の更新	
		換気設備	24時間換気ｼｽﾃﾑ	
		消防設備等更新	消防設備、非常放送設備等更新	
		放送設備	校舎、屋体の設備更新（※校舎350万円、屋体250万円、ﾁｬｲﾑ40万円程度）	計画期間10年内で更新
		ｷｭｰﾋﾞｸﾙ（高圧受電設備）	既存設備の更新（※1200万円程度）	
	⑤ 施策への対応	バリアフリー改修	ｴﾝﾄﾗﾝｽ等主要部分でのｽﾛｰﾌﾟ設置、階段昇降機等の設置	長寿命化改修時にあわせて実施
		サッシ改修	断熱サッシ化、強化ガラス(ｽｸｰﾙﾃﾝﾊﾟ）変更	
		トイレ改修	一部洋式化	
		防音化改修	高遮音性能建具への改修	計画期間10年内で更新
		ＩＣＴ環境整備	情報通信環境整備（※500万円程度）	
		照明LED化	省ｴﾈ改修	
		屋体備品改修	ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ改修（※600万円程度）	

2　事業プログラムの設定

（１）計画期間活用方針の設定（劣化部位改修事業の設定）

計画期間の活用方針を設定します。活用方針は配置計画方針に基づく１次判定及び劣化度判定を行った上で、改修優先順位等を勘案し以下に設定します。（※劣化度判定基準は P20 参照）

図表 5-2　計画期間活用方針の設定

種別	学校名	建物名	構造	階数	建設年度	築	長期需要判定（居住割合） 40%	10%以上	10%以下	（1次判定）	劣化度判定 屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	（2次判定）	計画期間事業手法（3次判定）	備考
小学校	野付	校舎1	RC	2	1981	37		○		中長期維持管理	A	C	B	B	B	個別改修	個別改修	体育館と併せ校舎外壁改修
		体育館	S	1	1981	37		○			D	D	D	B	B	大規模	大規模改修	
	上風連	校舎1	RC	2	1971	47			○	維持管理	A	A	A	B	B	維持保全	維持保全	－
		校舎2	S	1	1991	27			○		A	A	A	A	A	維持保全		
		体育館	S	1	1972	46			○		A	A	C	C	C	維持保全		
	中西別	校舎1	S	1	1965	53			○	維持管理	C	C	C	C	C	個別改修	維持保全	構想期間改修等検討
		校舎2	RC	2	1986	32			○		D	C	B	B	B	個別改修		
		体育館	S	1	1972	46			○		A	A	A	C	C	維持保全		
	別海中央	校舎1	RC	2	1976	42	○			長期維持管理	C	C	C	C	C	長寿命化	長寿命化改修	長期管理施設として長寿命化改修
		校舎2	RC	2	1991	27	○				B	B	B	B	B	個別改修		
		体育館	S	1	1978	40	○				B	B	C	C	C	長寿命化		
	中春別	校舎1	RC	2	1979	39			○	維持管理	D	C	B	B	B	個別改修	個別改修	屋上防水改修
		校舎2	RC	1	1992	26			○		D	C	B	B	B	個別改修		
		校舎3	S	1	2010	8			○		A	A	A	A	A	維持保全	維持保全	
		体育館	S	1	1992	26			○		B	B	B	B	B	維持保全		
	西春別	校舎1	RC	2	1988	30			○	維持管理	B	C	C	B	C	個別改修	維持保全	構想期間活用方針再設定
		体育館	S	1	1990	28			○		B	C	B	B	B	個別改修		
	上西春別	校舎1	RC	2	1982	36		○		中長期維持管理	A	A	B	B	B	維持保全	維持保全	－
		校舎2	RC	2	1991	27		○			A	A	B	B	B	維持保全		
		体育館	RC	1	1992	26		○			A	A	B	B	B	維持保全		
	上春別	校舎1	RC	2	1990	28			○	維持管理	A	A	B	B	B	維持保全	維持保全	－
		体育館	S	1	1990	28			○		A	A	B	B	B	維持保全		
中学校	野付	校舎1	RC	1	1971	47		○		中長期維持管理	B	C	C	C	C	長寿命化	維持保全	中長期管理施設として構想期間に長寿命化改修
		校舎2	RC	2	1987	31		○			B	C	B	B	B	個別改修		
		体育館	RC	1	1987	31		○			B	C	B	B	B	個別改修		
	上風連	校舎1	RC	2	1997	21			○	維持管理	D	C	B	B	B	個別改修	個別改修	緊急性高く屋上防水改修実施
		体育館	RC	1	1997	21			○		D	C	B	B	B	個別改修		
	中西別	校舎1	RC	2	2000	18			○	維持管理	C	B	A	A	A	個別改修	維持保全	構想期間改修等再検討
		体育館	RC	1	2001	17			○		C	B	A	A	A	個別改修		
	別海中央	校舎1	RC	2	1983	35	○			長期維持管理	D	C	B	B	B	個別改修	長寿命化改修	長期管理施設として長寿命化改修
		校舎2	RC	1	1996	22	○				C	C	B	B	B	個別改修		
		体育館	S	1	1984	34	○				B	B	B	B	B	個別改修		
	西春別	校舎1	RC	2	1993	25			○	維持管理	D	C	B	B	B	個別改修	個別改修	緊急性高く屋上防水改修実施
		体育館	S	1	1994	24			○		D	C	B	B	B	個別改修		
	中春別	校舎1	RC	2	2014	4			○	維持管理	A	A	A	A	A	維持保全	維持保全	－
		体育館	RC	1	2016	2			○		A	A	A	A	A	維持保全		
	上西春別	校舎1	RC	2	2016	2		○		中長期維持管理	A	A	A	A	A	維持保全	維持保全	－
		体育館	S	1	2018	0		○			A	A	A	A	A	維持保全		
	上春別	校舎1	S	2	1969	49			○	維持管理	A	A	B	B	B	維持保全	維持保全	－
		校舎2	S	1	1998	20			○		A	A	B	B	B	維持保全		
		体育館	S	1	1971	47			○		A	A	B	B	B	維持保全		
幼稚園	中西別	園舎	S	1	1974	44			○	維持管理	A	A	B	B	B	維持保全	維持保全	－
	上西春別	園舎	RC	1	1999	19		○		中長期維持管理	C	C	A	A	A	個別改修	維持保全	優先度低く構想期間に改修実施
	野付	園舎	W	1	2003	15		○		中長期維持管理	A	A	A	A	A	維持保全	維持保全	－
住宅	別海中央	住宅	RC	2	1991	27	○			長期維持管理	B	C	B	B	B	個別改修	維持保全	優先度低く構想期間に改修実施
	上西春別	住宅	RC	2	1993	25		○		中長期維持管理	B	C	B	B	B	個別改修	維持保全	優先度低く構想期間に改修実施

（２）機能向上改修等事業の設定

計画期間内で実施を予定する設備改修及び施策対応のための設備機能向上等事業を設定します。過半施設が対象となる事業年次設定の基準は次のとおりとします。

また、ICT 環境整備と照明 LED 化は同年時に行うことを想定します。

＜改修年次設定基準＞

◆ICT 環境整備……2020 年度の指導要領改訂に対応した ICT 環境整備に係る改修。（参考：国の財源保障については 2022 年まで）

◆照明 LED 化……2020 年までに水銀灯が製造中止（蛍光灯も今後 10 年以内に製造中止予定）となることから、それに向けた対策。

◆放送設備他……設置後 30 年経過した放送設備等の更新について、長寿命化改修工事との事業予算平準化を勘案し、計画期間内で分散設定。

図表 5-3　計画期間 10 年間に予定する機能向上改修等事業と対象施設

		小学校								中学校								備考
		野付小	上風連小	中西別小	別海中央小	中春別小	西春別小	上西春別小	上春別小	野付中	上風連中	中西別中	別海中央中	中春別中	西春別中	上西春別中	上春別中	
④ 設備更新 （早期対応）	放送設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	校舎、屋体の設備更新（※校舎350万円、屋体250万円、ﾁｬｲﾑ40万円程度）
	ｷｭｰﾋﾞｸﾙ（高圧受電設備）	○				○			○	○			○					既存設備の更新（※1200万円程度）
⑤ 施策対応 （機能向上）	防音化改修							○			○							高遮音性能建具への改修
	ＩＣＴ環境整備	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	情報通信環境整備（※調査４万円、整備500万円程度）
	照明LED化	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○			省ｴﾈ改修（※0.55万円/㎡程度）
	屋体備品改修					○			○	○			○					ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ改修（※600万円程度）

（３）計画期間事業プログラムの設定

種別	学校名	建物名	構造	階数	建設年度	築	事業手法	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考（改修履歴等）
小学校	野付	主校舎 体育館 設備他	RC S	2 1	1981 1981	37 37	個別改修 大規模改修 設備改修等	外壁 19,200 大規模 76,400	ICT・LED 23,940			キュービクル 840	キュービクル 2,500	放送設備 6,400	バスケゴール 6,000			
	上風連	主校舎 体育館 設備他	RC S	2 1	1971 1972	47 46	維持保全 設備改修等		ICT・LED 14,340 換気設備 4,000					バスケゴール 6,400				・H29［大規模改修］
	中西別	校舎1 校舎2 体育館 設備他	S RC S	1 2 1	1965 1986 1972	53 32 46	維持保全 設備改修等		ICT・LED 18,540					放送設備 6,000				
	別海中央	校舎1 校舎2 体育館 設備他	RC RC S	2 2 1	1976 1991 1978	42 27 40	長寿命化改修 設備改修等		設計［基本設計］ 9,000	設計［実施設計］ 20,000	長寿命化 500,000 ICT・LED 5,040	長寿命化 750,000						・H20［屋体屋根板金改修］
	中春別	校舎1 校舎2 校舎3 体育館 設備他	RC RC S S	2 1 1 1	1979 1992 2010 1992	39 26 8 26	個別改修 維持保全 設備改修等		ICT・LED 21,440	屋上防水 13,700				放送設備 6,000			キュービクル 12,000	
	西春別	校舎1 体育館 設備他	RC S	2 1	1988 1990	30 28	維持保全 設備改修等		ICT・LED 19,940				バスケゴール 6,000	放送設備 2,500				・H17［屋上トップコート］ ・H27［防災機能強化］※防音、屋体天井改修
	上西春別	校舎1 校舎2 体育館 設備他	RC RC RC	2 2 1	1982 1991 1992	36 27 26	維持保全 設備改修等						防音化 60,000	放送設備 400				・H28［大規模改修］ ・H27［防災機能強化］※防音、屋体天井直貼り改修
	上春別	校舎1 体育館 設備他	RC S	2 1	1990 1990	28 28	維持保全 設備改修等		キュービクル 5,700	ICT・LED 20,540 キュービクル 7,200			バスケゴール 6,000	放送設備 6,400				・H26［大規模改修］
中学校	野付	校舎1 校舎2 体育館 設備他	RC RC RC	1 2 1	1971 1987 1987	47 31 31	維持保全 設備改修等			ICT・LED 21,040				放送設備 3,500		キュービクル 12,000		・H28［屋上防水］
	上風連	校舎1 体育館 設備他	RC RC	2 1	1997 1997	21 21	個別改修 設備改修等		屋上防水 25,100	屋上防水 8,000 ICT・LED 19,740				放送設備 6,400	防音化 60,000			・H27［防災機能強化］※防音化改修、屋体天井直貼改修
	中西別	校舎1 体育館 設備他	RC RC	2 1	2000 2001	18 17	維持保全 設備改修等			ICT・LED 19,540				放送設備 6,400				・H27［防災機能強化］※防音化改修、屋体天井直貼改修
	別海中央	校舎1 校舎2 体育館 設備他	RC RC S	2 1 1	1983 1996 1984	35 22 34	長寿命化改修 設備改修等			ICT・LED 31,040	屋上防水 40,000			設計［基本設計］ 9,000 バスケゴール 6,000	設計［実施設計］ 20,000	長寿命化 500,000	長寿命化 750,000	・H20［屋体改修］
	西春別	校舎1 体育館 設備他	RC S	2 1	1993 1994	25 24	個別改修 設備改修等		屋上防水 12,400	屋上防水 5,400	ICT・LED 21,840			放送設備 6,400				・H27［防災機能強化］※防音化改修、屋体天井直貼改修
	中春別	校舎1 体育館 設備他	RC RC	2 1	2014 2016	4 2	維持保全 設備改修等				ICT・LED 23,840							・H26［校舎改築］ ・H27［屋体改築］
	上西春別	校舎1 体育館 設備他	RC S	2 1	2016 2018	2 0	維持保全 設備改修等											・H28［校舎改築］ ・H30［屋体改築］
	上春別	校舎1 校舎2 体育館 設備他	S S S	2 1 1	1969 1998 1971	49 20 47	維持保全 設備改修等				ICT・LED 16,340			放送設備 6,400				・H26［大規模改修］
幼稚園	中西別	園舎	S	1	1974	44	維持保全											・H23［大規模改修］
	上西春別	園舎	RC	1	1999	19	維持保全											
	野付	園舎	W	1	2003	15	維持保全											
住宅	別海中央	住宅	RC	2	1991	27	維持保全											
	上西春別	住宅	RC	2	1993	25	維持保全											
事業費 計（千円）								95, 600	154, 400	166, 200	607, 060	750, 840	74, 500	78, 200	86, 000	512, 000	762, 000	

（４）計画期間前期に予定する別海中央小学校の改修等事業の想定

ア　前提条件の整理

校舎１は築 42 年を経過し、診断により耐震性有と判定されていることから、長寿命化改修の対象となります。

体育館は、2009 年(平成 21 年)に補助事業を活用し耐震補強が行われていることから、継続活用を前提とします。よって、事業比較は「校舎改築」と「校舎改修（長寿命化)」とします。

図表 5-4　別海中央小学校の概要

建物名	構造	階数	延面積（㎡）	建築年度			耐震診断				耐震補強			劣化状況				
				和暦	西暦	築年数	基準	診断	調査年度	IS値	補強	年度	IS値	屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
校舎1	RC	2	4,106	S51	(1976)	42	旧	済	H9	1.5				C	C	C	C	C
校舎2	RC	2	800	H3	(1991)	27	新							B	B	B	B	B
体育館	S	1	1,033	S53	(1978)	40	旧	済	H9	0.2	済	H21	1.1	B	B	C	C	C

＜改築する場合の留意点＞

・校舎は体育館北側の狭小地に複層階で改築又は仮設校舎を北側に建設後、既存校舎を解体し既存位置に改築となる。

（※改築費のほか、校舎解体費等がかかる。）

＜改修する場合の留意点＞

・仮設校舎を体育館北側に建設後、校舎改修。

（※改修費のほか、仮設校舎費がかかる。）

イ　改築・改修等事業手法の選定結果

概算比較のための改築規模は、既存生徒数と同程度の 400 人とします。学級数は、12 学級と特別支援学級を各学年 1 学級とし 18 学級とします。面積は、文部科学省の学級数に応じた校舎必要面積で算定し 5,200 ㎡程度※1 とします。

これに本町における 2016 年度(平成 28 年度)の改築実績である上西春別中学校の改築費を参考に設定した 40 万円/㎡を乗ずると約 20.7 億円と想定できます。

一方、長寿命化改修では、外装、設備をほぼ全面的に改修する想定で算出すると約 10～11 億円と想定できます。よって、概算比較では改築と比べ改修が大幅なコスト削減となります。

なお、参考として 2 億円を上限とする大規模改修を想定すると、単年度事業ではほぼ設備更新ができず、2 か年で 4 億円を上限としても、設備改修は長寿命化と比べ 50%以下と想定されます。

図表 5-5　概算工事費等による事業比較

事業	概算額（千円）		備考
改　築（※2）	建築設備改築費	2,070,800	◆改築面積は文科省の学級数による面積算定方法※1より5,177㎡と仮定 ◆㎡単価は上西春別中校舎（2016年）37.4万円/㎡に物価上昇率を乗じ40万円/㎡と仮定（物価上昇率3%×3カ年）
	実質地方負担（26.7%）	**552,904**	
長寿命化改修	建築設備工事費	1,044,000	◆建築改修項目＝屋根改修、屋上防水改修、外壁改修、断熱サッシ化、内装等 ◆設備改修項目＝給排水設備更新、電気、ガス、消防設備、暖房、換気、トイレ改修等
	実質地方負担（26.7%）	**278,748**	
＜　参考　＞			
大規模改修	建築設備工事費	200,000	◆2億円を上限とした場合の建築改修項目＝屋根(100%)、屋上防水(100%)、外壁(校舎100%、屋体板金除く)、サッシ(ｶﾊﾞｰ工法教室のみ)等 ◆設備改修項目＝トイレ給水管交換程度
	実質地方負担（51.7%）	**103,400**	

※1　義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第七条による算出（2 級積雪寒冷地域で補正）
※2　改築（地震特措法対象）は耐力度調査の結果が 10,000 点中 5,000 点を下回った場合に対象となります。

3　長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

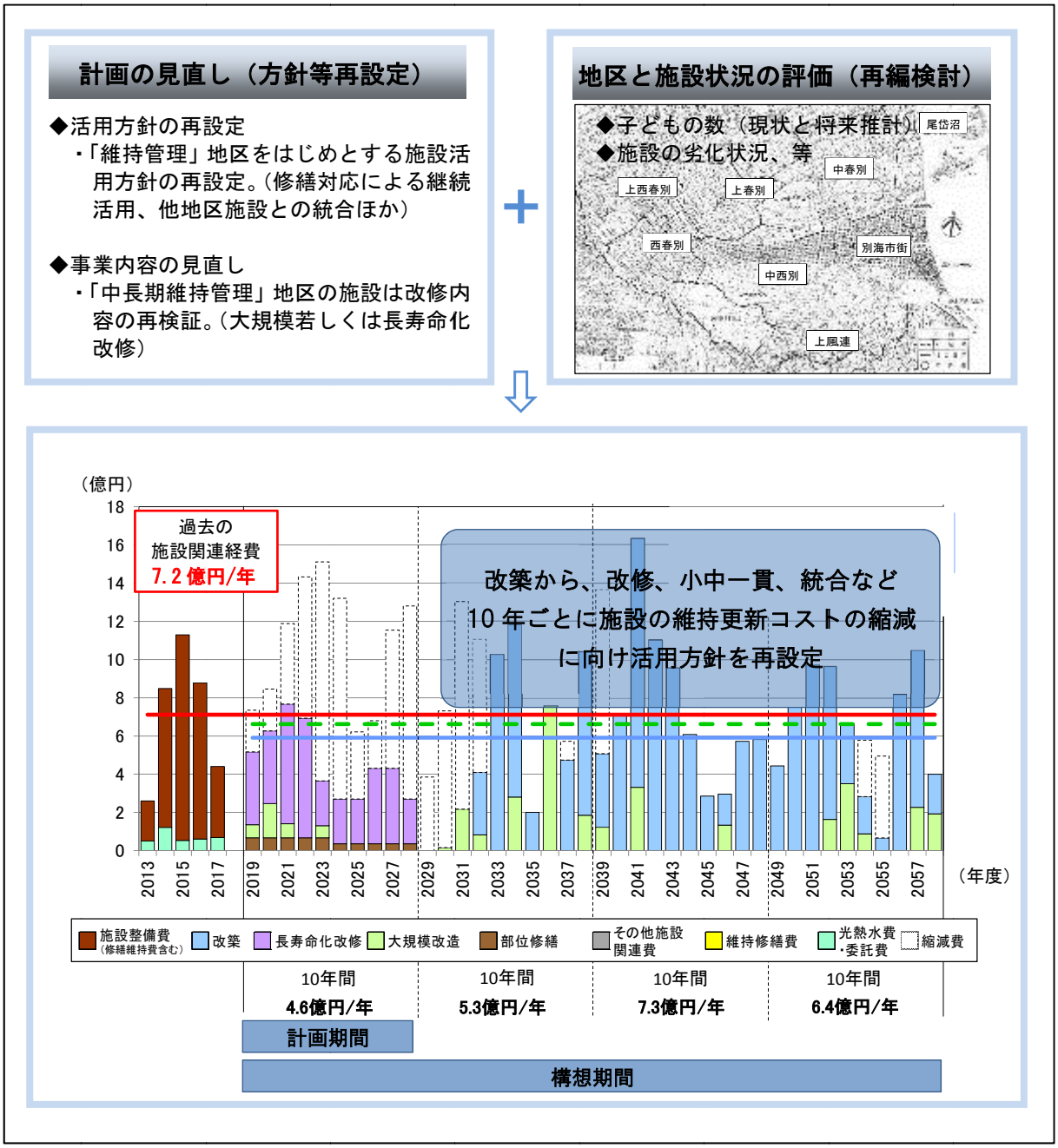
（１）長期的な維持管理コストの縮減に向けた方向性

今後の施設更新周期を長寿命化等による改修型とすることで、計画期間内に想定された事業費ついてはコストの縮減化となりますが、構想期間に入ると改築周期を迎える老朽施設が多数あり、計画期間に比べコストの大幅な増加が想定されます。

しかし、これらの想定は管理施設数が多い本町において、学校施設を現状のまま長期に渡り維持管理することを前提とした試算によるためです。

よって、維持更新コストの縮減化に向けては、必要に応じて計画期間のおおむね10年毎に学校施設毎に活用方針等の再検討を行い、適切で実現可能な施設の維持管理を行います。

図表 5-6　維持管理コストの縮減に向けた方向性



（２）学校施設の長期的な管理の見通し

長期的な維持管理コストの縮減に向けた方向性を踏まえ、構想期間 40 年の管理の見通しを次のとおり設定します。「中長期維持管理」地区については下表の時期に改修を予定しますが、具体の内容は改修時期の再設定により行います。「維持管理」地区については、必要に応じて計画期間のおおむね 10 年毎に活用方針を再設定し、コストの縮減を図ります。

図表 5-7　長期的な管理の見通し

種別	学校名	１期(2019～28)		２期(2029～38)		３期(2039～48)		４期(2049～58)		備考
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
小学校	野付	**大規模**［屋体］		**大規模**若しくは**長寿命**						H20耐震改修済、平成22年度外部改修済み。校舎は2期に大規模若しくは長寿命化改修を想定
	上風連					活用方針再設定		活用方針再設定		H29大規模改修済、概ね20年は修繕対応
	中西別			活用方針再設定		活用方針再設定		活用方針再設定		－
	別海中央	**長寿命**								校舎は築40年経過、長期維持管理に向け、長寿命化改修を想定
	中春別	**個別**［屋上］				活用方針再設定		活用方針再設定		計画期間内の良好な維持管理に向け屋上防水改修を想定
	西春別			活用方針再設定		活用方針再設定		活用方針再設定		－
	上西春別					**大規模**若しくは**長寿命**				H28大規模改修済、中長期維持に向け改修後20年を経過する3期に大規模若しくは長寿命化改修を想定
	上春別					活用方針再設定		活用方針再設定		H26大規模改修済、概ね20年は活用を想定
中学校	野付				**大規模**若しくは**長寿命**					H28屋上防水改修済、中長期維持管理に向け3期に大規模若しくは長寿命化改修を想定
	上風連	**個別**［屋上］				活用方針再設定		活用方針再設定		計画期間内の良好な維持管理に向け屋上防水改修を想定
	中西別			活用方針再設定		活用方針再設定		活用方針再設定		－
	別海中央	**個別**［屋上］	**長寿命**							校舎はS58年改築で計画期間後期に築40年経過、長期維持管理に向け、長寿命化改修を想定
	西春別	**個別**［屋上］				活用方針再設定		活用方針再設定		計画期間内の良好な維持管理に向け屋上防水改修を想定
	中春別					活用方針再設定		活用方針再設定		H26校舎、H28屋体改築、概ね20年は修繕対応
	上西春別						**個別**若しくは**大規模**			H28校舎、H30屋体改築、中長期維持に向け改築後20年となる3期に個別改修若しくは大規模改修を想定
	上春別					活用方針再設定		活用方針再設定		H26大規模改修済、概ね20年は修繕対応
幼稚園	中西別					活用方針再設定		活用方針再設定		H21大規模改修済、概ね20年は修繕対応
	上西春別			**個別**若しくは**大規模**						中長期維持管理に向け築後30年を経過する2期に個別若しくは大規模改修を想定
	野付				**個別**若しくは**大規模**					中長期維持管理に向け築後30年を経過する2期に個別若しくは大規模改修を想定

4　長寿命化の継続的運用方針

（１）情報基盤の整備と活用

本計画を推進するに当たり、学校施設の状況や改修履歴などをデータとして蓄積し、適切な時期に更新することが重要となります。

次の情報を適切に管理し、学校施設の状況を把握することで、今後の改修内容や時期を総合的に判断します。

各データは、施設状況に変化が生じた際や、改修、報告などが行われた際に適宜更新するほか、毎年度、更新の有無を含め内容を確認します。

情報基盤	内容等
◇学校施設台帳	・学校施設の基本情報
◇学校施設別営繕履歴	・改修、修繕の履歴（台帳）
◇定期・法定点検報告	・点検時の指摘事項等
◇学校施設実態調査	・学校からの修繕要望等（各年）
◇劣化状況調査結果	・施設の劣化状況及び相対的な老朽度の評価（概ね５年更新）

（２）推進体制等の整備

本計画策定後も、学校施設の老朽化は進行し状況は変化していきます。

また、学校施設に求められる機能や水準も変わっていくことが想定されます。

学校施設の整備は本町の公共施設の維持管理費の中でも、多大なウエイトを占めるほか、その役割は教育の場のみならず、地域コミュニティ活動、災害対応（避難）等も求められます。

よって、これら学校施設の状況を把握し、多岐に渡る役割や性能の維持と課題の解決に向けては、教育委員会各課はもとより、関係部署との連携は欠かせません。

本計画に基づき、長寿命化を確実に実現するためには、関係部署との連携をより一層図り、推進体制を充実させていきます。

（３）フォローアップ

本計画に基づき、効率的かつ効果的に学校施設整備を進めていくためには、PDCAサイクルを確立することが重要となります。

また、本計画は、学校施設の改修や建替えの優先順位を設定するものであり、上位関連計画及び町の総合計画の策定の中で協議、検討を行い、計画期間事業プログラムを精査していくとともに、事業の進捗状況、情報基盤から得られる老朽化に関する状況・評価などの結果、また、各学校区の子どもの数等の状況を踏まえた上で、本計画は必要に応じ見直しを行います。

PDCA サイクル	
＜PLan＞	①　施設の状況を把握した上で、それを踏まえた整備計画を策定
＜Do＞	②　計画に基づく日常的な維持管理や適切な改修を実施
＜Check＞	③　整備による効果を検証し、整備手法の改善点などを整理
＜Action＞	④　次期計画に反映

参考資料１　別海中央小学校長寿命化改修の想定

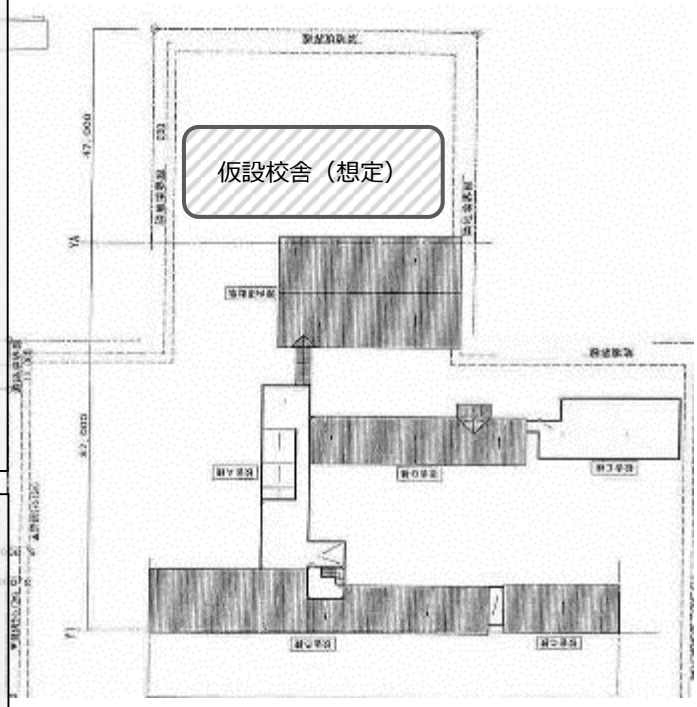
（１）改修項目の想定

◆屋上屋根・外壁等の長寿命化

◇屋根改修
・ガルバリウム鋼板葺替
◇屋上防水改修
・ウレタン防水新規施工
◇外壁改修
・外断熱化、ガルバリウム鋼板葺替
・金属サイディング新規施工
◇断熱サッシ化
・強化ガラス（スクールテンパ）変更
※カバー工法も検討
◇内装改修
・床：フローリング、水回りは長尺
・壁：シナ合板クリア塗装
・天井：ジプトーン

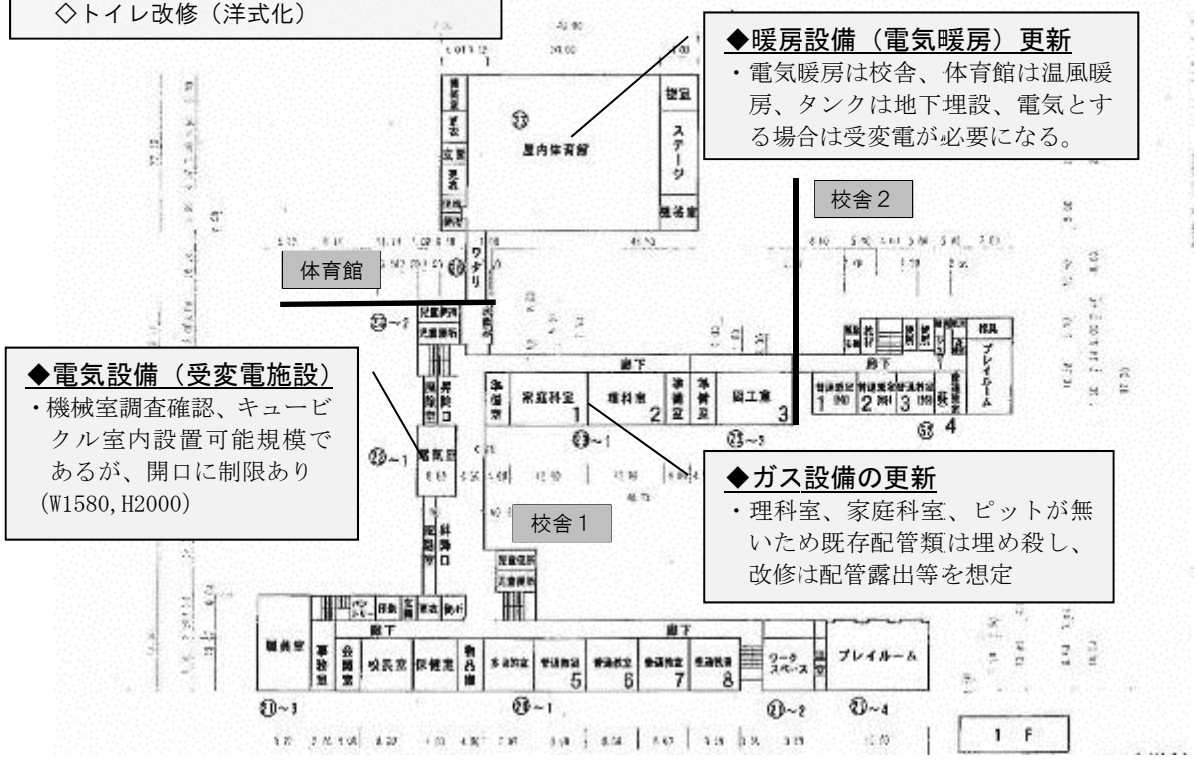
◆電気・機械設備更新

◇給排水設備の更新
・給排水管、受水槽、等
◇電気設備
・照明、ケーブル、分電盤、受変電施設、等
◇ガス設備の更新
◇消防設備、非常放送設備の更新
◇暖房設備（電気暖房）の更新
◇換気設備の更新
・エリアごとに熱交換換気扇システムの設置
◇トイレ改修（洋式化）



◆暖房設備（電気暖房）更新

・電気暖房は校舎、体育館は温風暖房、タンクは地下埋設、電気とする場合は受変電が必要になる。



◆電気設備（受変電施設）

・機械室調査確認、キュービクル室内設置可能規模であるが、開口に制限あり
(W1580,H2000)

◆ガス設備の更新

・理科室、家庭科室、ピットが無いため既存配管類は埋め殺し、改修は配管露出等を想定

（２）概算事業費の想定

＜調査・設計費＞

項目		金額	消費税 (10%)	工事費	実質地方負担 (100%と想定)	備考
躯体調査費		5,000,000	500,000	5,500,000	－	中性化・鉄筋腐食度×36箇所ほか
設計費	基本設計	8,400,000	840,000	9,240,000	－	委託料算定調書「延面積に基づく算定方法」※で算出
	実施設計	18,000,000	1,800,000	19,800,000	－	
計				**29,040,000**	**29,040,000**	**A（設計・監理費）**

＜建築・設備等工事費＞

項目	工事価格	消費税 (10%)	工事費	実質地方負担 (26.7%と想定)	備考
建築主体	494,000,000	49,400,000	543,400,000	－	屋根屋上、外壁改修ほか
電気設備工事	303,000,000	30,300,000	333,300,000	－	電気（LED)、電気暖房ほか
機械設備工事	152,000,000	15,200,000	167,200,000	－	給排水、ガス、トイレ、換気ほか
計			**1,043,900,000**	**278,721,300**	**B（工事費）**

＜その他＞

項目	金額	消費税 (10%)	工事費	実質地方負担 (26.7%と想定)	備考
仮設校舎(建設)	120,000,000	12,000,000	132,000,000	－	1250㎡程度(420㎡×3)=420㎡（教室6室ブロック、12教室+他6室規模）
仮設校舎(解体)	40,000,000	4,000,000	44,000,000	－	
計			**176,000,000**	**46,992,000**	**C**

合計	1,250,000,000 **1,248,940,000**	360,000,000 **354,753,300**	**A ＋ B ＋ C**

参考資料２　補助事業等の概要

（１）公立学校施設整備事業の概要

１．趣　旨

学校教育の機会均等の確保と水準の維持向上を図るため、「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」（施設費負担法）等に基づき、公立学校建物（公立小中学校、特別支援学校、幼稚園の校舎・体育館等）の施設整備に要する経費の一部を国庫補助することにより学校教育の円滑な実施を担保する。

２．主な国庫補助事業・負担（算定）割合

事業名	負担(算定)割合	事業の内容
新増築	１／２	学校建物（校舎、体育館等）を新しく建設又は増築（教室不足の解消、学校統合）
改築	１／３	構造上危険な状態にある建物、耐震力不足の建物、津波浸水想定区域内の移転又は高層化を要する建物等
	１／２（嵩上げ）	Is値（※）が0.3未満の建物のうち、やむを得ない理由により補強が困難なもの
	１／２	南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域における集団移転促進事業に関連する学校建物の高台移転改築
地震補強	１／２（嵩上げ）	地震による倒壊の危険性があるもの（Is値0.3～0.7未満）
	２／３（嵩上げ）	地震による倒壊の危険性が高いもの（Is値0.3未満）
大規模改造等	１／３（統合改修：1/2）	エコ改修や老朽化に伴う補修など、既存の学校建物を、建て替えずに改修（老朽改修、統合改修、トイレ改修、空調設置、障害児対策 等）
長寿命化改良	１／３	構造体の劣化対策を要する建築後40年以上の建物の耐久性を高めるとともに、現代の社会的要請に応じる改修
防災機能強化	１／３	避難所として必要な、学校施設の防災機能強化（非構造部材の耐震化、避難経路、備蓄倉庫の整備、避難所指定校への自家発電設備の整備、等）
武道場	１／３	中学校に柔道場、剣道場等を整備
太陽光発電等設置	１／２	太陽光発電等の再生可能エネルギーの整備（太陽光パネルの設置、太陽熱利用、風力発電の整備 太陽光パネル既設置校への蓄電池の整備）
その他	１／３	屋外環境（グラウンド）、木の教育環境、学校プール、社会体育施設、学校給食施設、高校の産業教育施設等の整備、特別支援学校の用に供する既存施設の改修

※Is値（構造耐震指標）：建物の耐震性能を表す指標。Is値が大きいほど耐震性が高い。

Is値0.3未満　大規模な地震（震度６強以上）に対して倒壊または崩壊の危険性が高い。
Is値0.3～0.6未満　大規模な地震に対して倒壊または崩壊の危険性がある。
Is値0.6以上　大規模な地震に対して倒壊または崩壊の危険性が低い。

新増築　：公立学校施設整備費負担金
新増築以外　：学校施設環境改善交付金

（２）長寿命化改良事業の概要

長寿命化改良事業の概要

【概要】
○従来、改築（建て替え）していた老朽施設の再生を図るため、構造体の長寿命化やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供など現代の社会的要請に応じた改修を支援

【対象校】　幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校

【対象建物】校舎、屋内運動場、寄宿舎

【算定割合】１／３
※ 併せて改築と同様の地方財政措置により、地方自治体の実質的な負担割合は26．7%

【補助要件】構造体の劣化対策を要する建築後４０年以上経過した建物
下限額：7,000万円（小規模校1,000万円、幼稚園400万円）

（３）大規模改造事業の概要

大規模改造（老朽）事業の概要

【概要】
○経年により発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や、教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る改修を支援

【対象校】　幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校

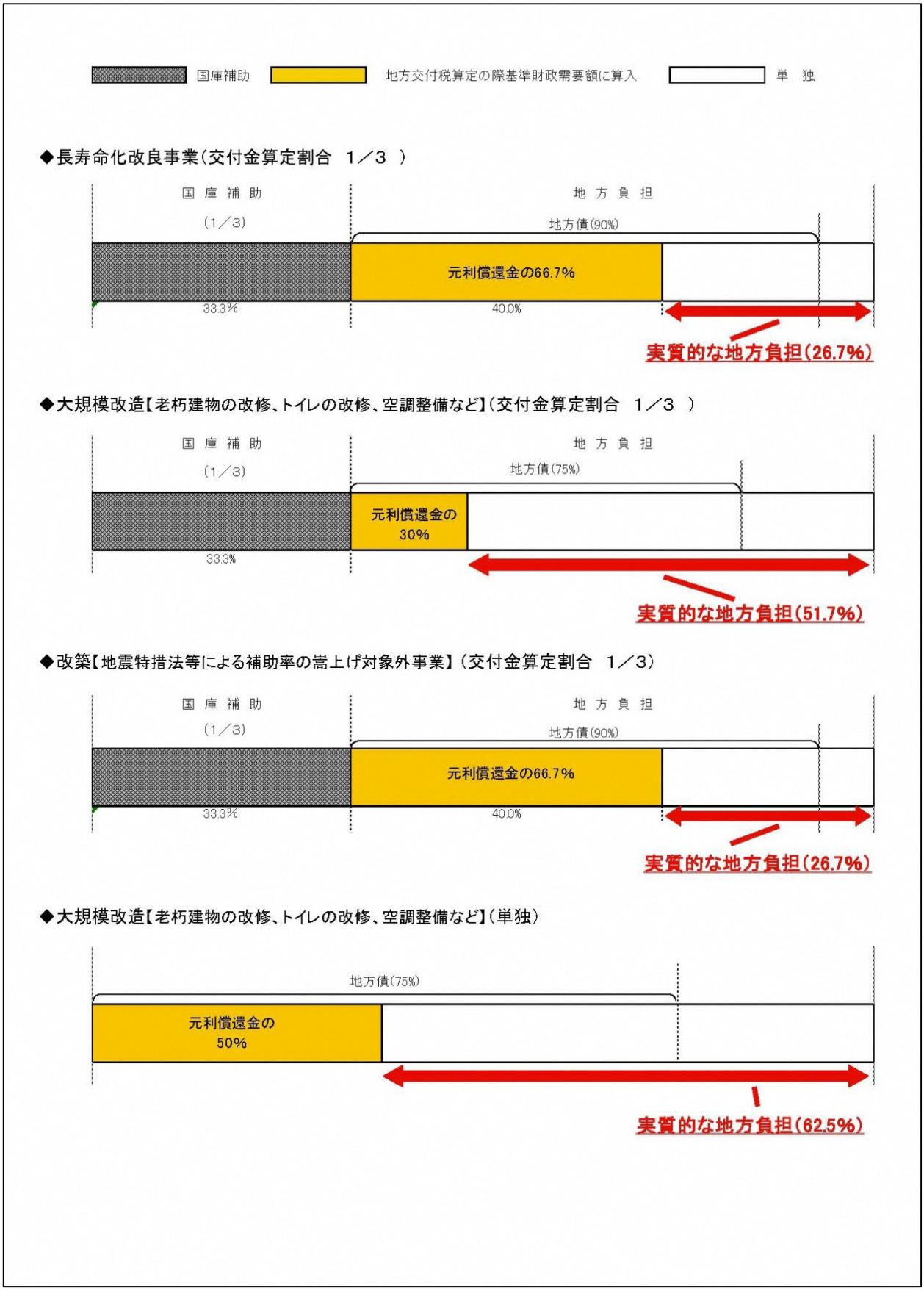
【対象建物】校舎、屋内運動場、寄宿舎

【算定割合】１／３（財政力指数が1.0を超える設置者にあっては ２／７）

【補助要件】建築後２０年以上の建物の外部及び内部の両方を同時に全面的※に改造する工事
※建物全体の延べ床面積の約７０%以上

上限額：2億円（過去急増市町村にあっては３億円）
下限額：7,000万円（小規模校1,000万円、幼稚園400万円）

（４）平成 30 年度予算に係る地方財政措置等について



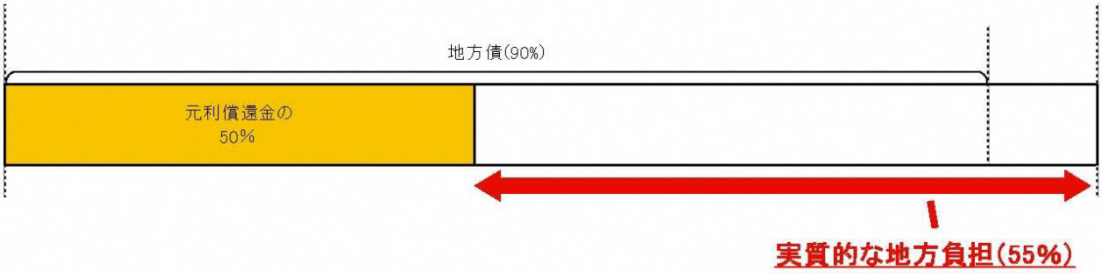
地方交付税算定の際基準財政需要額に算入　　単　独

◆集約化・複合化事業に係る地方債措置

【対象】

公共施設等総合管理計画に基づいて実施される既存の公共施設の集約化・複合化事業であって、全体として延床面積が減少するもの（庁舎等の公用施設や公営住宅、公営企業施設等は対象外）

【充当率】

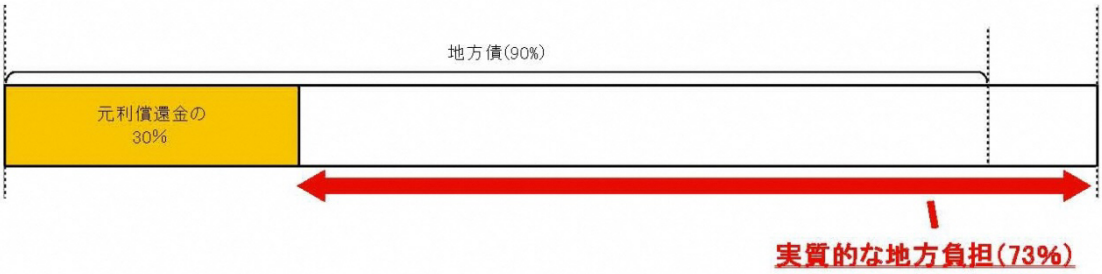


◆転用事業に係る地方債措置

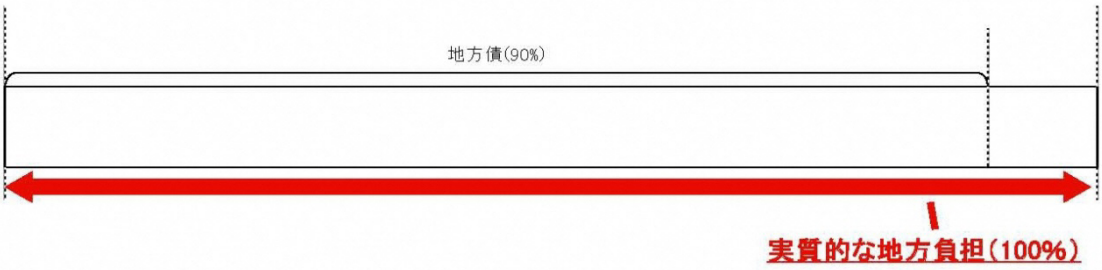
【対象】

公共施設等総合管理計画に基づいて実施される既存の公共施設等の転用事業
（転用後の施設が庁舎等の公用施設、公営住宅、公営企業施設等である場合は対象外）

【充当率】



◆公共施設等の除却についての地方債の特例措置



別海町学校施設長寿命化計画
発　行　　平成 31 年 3 月発行
発行者　　別海町教育委員会
〒086-0205　別海町別海常盤町２８０番地
印　刷　　(株)アトリエブンク